

令和 7 年度
かわべ天文公園フットサルコート周辺整備工事

[illegible]

[illegible]

④ 地業工事

3	地盤の載荷試験 (4.2.4)	平板載荷試験 ・行う ・行わない 載荷試験の方法 図示による 試験位置及び載荷荷重 図示による 報告書の記載事項 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「敷地調査共通仕様書」による サウンディング試験 ・行う ・行わない 3節 既製コンクリート杭地業 工法の適用 ・セメントミルク工法 ・特定埋込杭工法
4	一般事項 (4.3.1)	
5	材料 (4.3.3)	既製コンクリート杭の種類、性能、曲げ強度等による区分等 図示による 杭の寸法、継手の箇所数、杭先端部の形状等 図示による
6	セメントミルク工法 (4.3.4)	支持層の位置及び土質 図示による 本杭の掘削深さ、杭の支持層への根入れ長さ及び杭の水平方向の位置ずれの精度 図示による
7	特定埋込杭工法 (4.3.5)	支持層の位置及び土質 図示による
8	継手 (4.3.6)	継手の工法 ・アーク溶接 ・機械式継手
9	杭頭の処理等 (4.3.8)	杭頭の処理 図示による
10	材料 (4.4.3)	4節 鋼杭地業 鋼杭の材料 図示による
11	継手 (4.4.5)	継手の工法 ・アーク溶接 ・機械式継手
12	一般事項 (4.5.1)	5節 場所打ちコンクリート杭地業 工法の適用 ・アースドリル工法、リバース工法及びオールケーシング工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法及び掘込杭工法
13	材料その他 (4.5.4)	鉄筋 帯筋の加工及び組立 図示による 鉄筋の最小かぶり厚さ 図示による 鉄筋かごの補強 図示による 組み立てた鉄筋の節ごとの継手 図示による コンクリート セメントの種類 高炉セメントB種 ・その他 () 設計基準強度 (F _c) 図示による コンクリートの種別 ・A種 ・B種 スランプ () cm 構造体強度補正値 (S) 3 N/mm ² ・その他 () 鋼管 鋼管部分の材料 図示による
14	アースリウム工法、リバース工法及びオールケーシング工法 (4.5.5)	支持層の位置及び土質 図示による 本杭 杭の支持層への根入れ長さ及び水平方向の位置ずれの精度 図示による 超音波測定器による孔壁の確認 ・行う ・行わない
15	場所打ち鋼管コンクリート杭工法及び掘込杭工法 (4.5.6)	支持層の位置及び土質 図示による
16	材料 (4.6.2)	6節 砂利、砂、捨コンクリート地業等 砂利 ①再生クラッシャー ②切込砂利 ③切込砕石 砂 ・シルト ・有機物等の混入しない締固めに適した山砂 ・川砂 ・砕砂 床下防湿層に使用する材料 ポリエチレンフィルム ・その他 ()
17	砂利及び砂地業 (4.6.3)	砂利及び砂地業の範囲 図示による 砂利及び砂地業の厚さ 60 mm ④その他 ()
18	捨コンクリート地業 (4.6.4)	捨コンクリートの範囲 図示による 捨コンクリートの厚さ 50 mm ・その他 ()
19	床下防湿層 (4.6.5)	防湿層の適用及び範囲 図示による
1	鉄筋 (5.2.1)	2節 材料 鉄筋の種類等 図示による
2	溶接金網 (5.2.2)	鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径 図示による
3	継手及び定着 (5.3.4)	3節 加工及び組立 鉄筋の継手 ・重ね継手 ・ガス圧接継手 ・機械式継手 ・溶接継手 鉄筋の継手位置 図示による 柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ 図示による 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ 図示による 先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同一箇所にはける場合 図示による 鉄筋の定着の長さ 図示による 仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さ及び、表5.3.4のフックありの定着の長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法 図示による 機械式定着工法の適用箇所及び種類 図示による
4	鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5)	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ 図示による
5	各部配筋 (5.3.7)	各部の配筋 図示による
6	圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)	4節 ガス圧接 抜取試験の方法 超音波探傷試験 ・引張試験 引張試験の方法等 図示による
7	工法 (5.5.3)	5節 機械式継手 機械式継手の適用箇所、性能、種類、鉄筋相互のあき等 図示による

⑤ 鉄筋工事

① 鉄筋 (5.2.1)	鉄筋の種類等	図示による
2 溶接金網 (5.2.2)	鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径	図示による
③ 継手及び定着 (5.3.4)	<p>3節 加工及び組立</p> <p>鉄筋の継手 ・ 重ね継手 ・ ガス圧接継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手</p> <p>鉄筋の継手位置 図示による</p> <p>柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ 図示による</p> <p>耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ・ 図示による</p> <p>先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同一箇所にはける場合 図示による</p> <p>鉄筋の定着の長さ ・ 図示による</p> <p>仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さ及び、表5.3.4のフックありの定着の長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法 ・ 図示による</p> <p>機械式定着工法の適用箇所及び種類 図示による</p>	
④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5)		
⑤ 各部配筋 (5.3.7)	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ	図示による
	各部の配筋	図示による
6 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)	<p>4節 ガス圧接</p> <p>抜取試験の方法 超音波探傷試験 ・ 引張試験</p> <p>引張試験の方法等 ・ 図示による</p>	
7 工法 (5.5.3)	<p>5節 機械式継手</p> <p>機械式継手の適用箇所、性能、種類、鉄筋相互のあき等 図示による</p>	

コ
ン
ク
リ
ー
ト
工
事

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①

②

③

4

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

8

9

10

①</

7
鉄
骨
工
事

10

型枠一般（6.8.1）

11

材料（6.8.2）

12

型枠の存置期間及び取外し（6.8.4）

13

コンクリートの強度試験（6.9.3）

14

一般事項（6.10.1）

15

種類及び品質（6.10.2）

16

一般事項（6.11.1）

17

材料及び調合（6.11.2）

18

材料及び調合（6.12.2）

19

一般事項（6.13.1）

20

材料及び調合（6.13.2）

21

一般事項（6.14.1）

22

一般事項（6.15.1）

8節 型枠

外部に面するコンクリートの打増し厚さ 図示による

ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法 図示による

せき板の材料 ・図示による

せき板の材料として合板を用いる場合の厚さ 12mm ・その他（ ）

せき板に断熱材を兼用した型枠材を使用する場合 図示による

MCR工法用シート 図示による

スリ・ブに用いる材料の材種、規格等 図示による

セメントの種類が普通エコセメントの場合の型枠の最小存置期間 図示による

9節 試験等

コンクリートの強度試験は、以下の県が指定する試験機関で行う。

試験機関名	所在地
和歌山県生コンクリート工業組合 和歌山試験場	和歌山市
和歌山県生コンクリート工業組合 日高試験場	御坊市
和歌山県生コンクリート工業組合 紀北試験場	紀の川市
和歌山県生コンクリート工業組合 紀南試験場	上富田町

・コンクリートの強度試験は、JIS認定工場で県の監督員立会の上、実施できる。

10節 軽量コンクリート

軽量コンクリートの適用箇所 図示による

軽量コンクリートの種類及び気乾単位容積質量 ・1種 ・2種

スランブ 21cm ・その他（ ）

11節 寒中コンクリート

寒中コンクリートの適用期間 図示による

構造体強度補正值（S） ・積算温度を基に定める

12節 暑中コンクリート

構造体強度補正值（S） 6N/mm2 ・その他（ ）

13節 マスコンクリート

マスコンクリートの適用箇所 図示による

セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント

・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント

混和剤の種類 ・図示による

スランブ 15cm ・その他（ ）

構造体強度補正值（S） ・図示による

14節 無筋コンクリート

コンクリートの種類 普通コンクリート ・その他（ ）

設計基準強度（Fc） 18N/mm2 ・その他（ ）

スランブ 15cm 18cm ・その他（ ）

無筋コンクリートの適用箇所 ・図示による

表6.2.1以外のコンクリートを用いる場合 図示による

15節 流動化コンクリート

流動化コンクリート ・使用する ・使用しない

1節 共通事項

鉄骨製作工場の加工能力等 適用する（建築基準法による性能評価の大臣認定グレード同等以上）

・S ・H ・M ・R ・J

鉄骨製作工場における施工管理技術者の配置

・配置する ・配置しない

2節 材料

鋼材の種類、形状及び寸法 図示による

高力ボルトの種類

・トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト ・その他（ ）

ねじの呼び 図示による

ボルト及びナットの材料等 ・図示による

ねじの呼び 図示による

構造用アンカ・ボルトの種類 図示による

建方用アンカ・ボルトの種類 図示による


建方用アンカ・ボルト及びナットのねじの公差域クラス ・図示による


標準仕様書7.2.5（1）（2）以外の溶接材料 図示による

タ・ンバックルの種類、ねじの呼び等 ・図示による


デッキプレート の材質、形状及び寸法 図示による

スタッドの種類等 図示による

工 事 名	かわべた文公園フットサルコート周辺整備工事	DATE			DRAWING NO. A 02
図 面 名	特記仕様書（２）	SCALE			
 ARCHITECTURAL DESIGN FIRM 株式会社 岡 本 設 計					


7 鉄骨工事	11 柱底均しモルタル（7.2.9）	柱底均しモルタルを無収縮モルタルとする場合の材料、調合等 ・ 図示による	押出成形セメント板工事	9 外壁パネル構法（8.4.3）	外壁パネル構法の種別 ・ A 種 ・ B 種 耐風圧性能及び耐震性能 図示による パネル幅の最小限度を 3 0 0 mm未満とする場合 図示による パネルの短辺小口相互の接合部の目地幅 1 0 ～ 2 0 mm ・ その他（ ） 出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅 1 0 ～ 2 0 mm ・ その他（ ） 伸縮目地に耐火目地材を充填する場合 図示による	9 施工（9.4.4）	接着工法の場合の目地処理でプレキャストコンクリート下地の場合 図示による 種別 S - F 1 又は S - F 1 の場合のプレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り 図示による 一般部のル・フィングシート の張付けを機械的固定方法で行う場合の建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 図示による 立上り部の保護モルタル塗厚 7 mm以下 ・ その他（ ）							
	12 材料試験等（7.2.10）	板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 ・ 行う ・ 行わない		10 間仕切壁パネル構法（8.4.4）	間仕切壁パネル構法の種別 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種 耐震性能 図示による		10 防水層の種別及び工工程（9.5.3）	5 節 塗膜防水 ・ ウレタンゴム系塗膜防水 防水層の工法による種別 ・ X - 1 ・ X - 2 仕上塗料の種類及び使用量 図示による 種別 X - 1 における脱気装置の種類及び設置数量 主材料の製造所の仕様 ・ その他（ ） ・ ゴムアスファルト系塗膜防水 防水層の種別 ・ Y - 1 ・ Y - 2 種別 Y - 2 における工程 5 の保護層の仕様 ・ 保護コンクリート ・ 保護モルタル						
	13 工作図（7.3.2）	3 節 工作一般 高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 図示による		11 材料（8.5.2）	5 節 押出成形セメント板（ECP） パネルの種類、形状、厚さ及び幅 図示による		11 施工（9.6.4）	6 節 ケイ酸質系塗布防水 壁及び天井部の防水層の下地 ・ 図示による 防水層下地のコンクリートの打継ぎ面所の下地処理 ・ 図示による その他の下地処理 図示による						
	14 ボルト孔（7.3.8）	母屋又は副縁の取付けに使用する普通ボルトの孔径 ねじの呼び径 + 1.0 mm ・ その他（ ）		12 外壁パネル工法（8.5.3）	外壁パネル工法の種別 ・ A 種 ・ B 種 耐風圧性能及び耐震性能 図示による 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 パネルの製造所の仕様 ・ その他（ ） パネル幅の最小限度を 3 0 0 mm未満とする場合 図示による パネル相互の目地幅 図示による 出隅及び入隅のパネル接合目地幅 1 5 mm程度 ・ その他（ ）		12 材料（9.7.2）	7 節 シーリング シーリング材の種類及び施工箇所 図示による シーリング材表面に仕上げを行わない場合 図示による						
	15 仮組（7.3.10）	仮組 ・ 行う ・ 行わない		13 間仕切壁パネル工法（8.5.4）	間仕切壁パネル工法の種別 ・ B 種 ・ C 種 耐震性能 図示による		13 目地寸法（9.7.3）	シーリング材の目地寸法 ・ 図示による						
	16 摩擦面の性能及び処理（7.4.2）	4 節 高力ボルト接合 すべり試験を実施する場合の試験の方法等 図示による		14 溝掘り及び開口部の措置（8.5.5）	パネルにやむを得ず設備開口等をつける場合のパネルの開口寸法等の限度 図示による		14 シーリング材の試験（9.7.5）	接着性試験 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験						
	17 締付け（7.4.7）	JIS 形高力ボルトの本締め付けでナット回転法を用いる時、ボルトの長さがねじの呼びの 5 倍を超える場合の回転量 図示による					15 保証規定	その他 元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を監督員に提出する。 保証期間 工事引渡し後 10 年間 ・ 工事引渡し後（ ）年間						
	18 溶接作業を行う技能資格者（7.6.3）	6 節 溶接接合 溶接作業を行う技能資格者に対して、技量付加試験を行う場合 図示による												
	19 溶接の準備（7.6.4）	開先の形状 図示による												
	20 溶接施工（7.6.7）	鋼製エンドタブを切断する箇所及び切断範囲 図示による 鋼製エンドタブの切断面の仕上げ ・ 図示による 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示による スカラープの形状 図示による												
21 溶接部の試験（7.6.12）	溶接部の外観試験の試験方法等 図示による 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 行う ・ 行わない AQL（平均出検品質限界） ・ 2.5 % ・ 4.0 % 検査水準 ・ 第 1 水準 ・ 第 2 水準 ・ 第 3 水準 ・ 第 4 水準 ・ 第 5 水準 第 6 水準		9 防水工事	1 材料（9.2.2）	2 節 アスファルト防水 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 図示による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 図示による 押え金物の材質及び形状寸法 アルミニウム製 L・3 0 × 1 5 × 2.0（mm）程度 ・ その他（ ） 屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材の厚さ 図示による 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ ・ 図示による 絶縁用シートに使用する材料 ・ 図示による 立上り部の保護の乾式保護材 図示による 立上り部の保護のれんが 図示による	10 石工事	1 節 共通事項 石材の割付け ・ 図示による							
22 デッキプレートの溶接（7.7.8）	7 節 スタッド溶接及びデッキプレートの溶接 デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法 図示による	2 防水層の種類、種別及び工程（9.2.3）		防水層の工法による種別 ・ A - 1 ・ A - 2 ・ A - 3 ・ A - 1 ・ B - 2 ・ B - 1 ・ B - 2 ・ D - 1 ・ D - 2 ・ D - 1 ・ D - 2 ・ E - 1 ・ E - 2 立上り部における保護工法 図示による 立上り部への断熱材及び絶縁シートの設置 図示による 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法 脱気装置の種類及び設置数量 アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・ その他（ ） 仕上塗料の種類及び使用量 図示による 屋内防水密着工法 保護層を設ける場合 図示による E - 1 の工程を行う場合 ・ 図示による	2 節 材料 天然石 岩石の種類 図示による 石材の形及び寸法 図示による 石材の表面仕上げの種類 図示による ジェットバーナー仕上げのパフ仕上げの有無 ・ 有り ・ 無し テラソ 種石の種類及び大きさ ・ 図示による テラソブロックの形状による区分、仕上げ面による区分及び寸法、仕上げの種類 図示による テラソタイルの寸法による区分 図示による									
23 塗装の範囲（7.8.2）	8 節 錆止め塗装 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 図示による 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・ 図示による	3 施工（9.2.4）		下地がモルタル塗りの場合の適用面所 図示による 立上り ・ 図示による 屋根露出防水絶縁断熱工法のルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による	3 取付け金物（10.2.2）		外壁湿式工法及び内壁空積工法の受金物の材質、形状及び寸法 ・ 図示による 外壁乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 ・ 図示による 特殊部位用金物 図示による アンカーの材質及び寸法 ・ 図示による あと施工アンカーの材質、寸法等 図示による							
24 塗料種別（7.8.4）	鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面の錆止め塗料の種別 A 種 ・ B 種 耐火被覆材が接着する面に塗装する場合の錆止め塗料の種別 ・ A 種 ・ B 種	4 保護層等の施工（9.2.5）		平場の保護コンクリートの厚さ ・ 図示による 立上り部の保護工法 図示による れんが押えの施工 図示による 屋上排水溝の設置 図示による	4 その他の材料（10.2.3）		取付け用モルタル ・ 図示による 既調合の目地用モルタル ・ 図示による 浸透性吸水防止剤 ・ 図示による 石裏面処理材 ・ 図示による 裏打ち処理材 ・ 図示による 外壁湿式工法に使用するドレンパイプの材質 図示による 金物の固定に使用する充填材料等 ・ 図示による							
25 耐火被覆の種類等（7.9.2）	9 節 耐火被覆 耐火被覆の種類、材料、工法等 図示による	5 材料（9.3.2）		3 節 改質アスファルトシート防水 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 図示による 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・ 図示による 押え金物の材質、形状及び寸法 アルミニウム製 L・3 0 × 1 5 × 2.0（mm）程度 ・ その他（ ） 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ 図示による	5 材料（10.3.2）		3 節 外壁湿式工法 石材の厚さ 図示による 石材の加工 図示による							
26 耐火被覆の性能、品質等（7.9.3）	耐火被覆の耐火性能 図示による	6 防水層の種別及び工程（9.3.3）		防水層の工法による種別 ・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 ・ AS-T1 ・ AS-J1 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法における脱気装置の種類及び設置数量 改質アスファルトシートの製造所の指定 ・ その他（ ） 屋根露出防水絶縁断熱工法における防湿用シートの設置 図示による 仕上塗料の種類及び使用量 図示による	6 施工（10.3.3）		下地ごしらえの工法 ・ 流し筋工法 ・ あと施工アンカー工法 ・ あと施工アンカー・横筋流し工法 一般目地の目地幅 6 mm以上 ・ その他（ ） 伸縮調整目地の位置及びシーリング材の目地寸法 ・ 図示による							
27 アンカーボルトの設置等（7.10.3）	10 節 工事現場施工 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ・ A 種 ・ B 種 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状並びに寸法 図示による 柱底均しモルタルの厚さ 図示による 柱底均しモルタルの工法の種別 A 種 ・ B 種	7 材料（9.4.2）		4 節 合成高分子系ル・フィングシート防水 ル・フィングシートの種類及び厚さ ・ 図示による 可塑性移行防止用シートの材質 発泡ポリエチレンシート ・ その他（ ） 固定金具の材質、形状及び寸法 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ 0.4 mm以上のもの ・ その他（ ） 断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ 図示による	7 材料（10.4.2）		4 節 内壁空積工法 石材の厚さ 図示による							
28 施工（7.11.2）	11 節 軽量形鋼 ボルトの接合方法 図示による	8 防水層の種別及び工程（9.4.3）		防水層の工法による種別 ・ S - F1 ・ S - F2 ・ S - M1 ・ S - M2 ・ S - F1 ・ S - F2 ・ S - M1 ・ S - M2 ・ S - C1 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ その他（ ） 仕上塗料の種類及び使用量 図示による 断熱工法における防湿用フィルムの設置 図示による S - C1 の工程 4 の保護モルタルの塗厚 図示による	8 施工（10.4.3）		下地ごしらえの工法 ・ あと施工アンカー工法 ・ あと施工アンカー・横筋流し工法 一般目地の目地幅 6 mm以上 ・ その他（ ） 伸縮調整目地の位置及びシーリング材の目地寸法 6 mm程度 ・ その他（ ）							
29 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合（7.12.5）	12 節 溶融亜鉛めっき工法 摩擦面の処理方法等 ・ プラスト処理 ・ りん酸塩処理 ・ その他（ ）				9 材料（10.5.2）		5 節 乾式工法 石材の厚さ 図示による 石材の加工 図示による							
8 コンクリートブロック、ALCパネル及び	1 材料（8.2.2）	2 節 補強コンクリートブロック造 ブロックの種類、モジュール呼び寸法及び正味厚さ 図示による												
	2 モルタルの調合（8.2.3）	モルタルの調合 ・ 図示による												
	3 鉄筋の加工及び組立（8.2.5）	各部の配筋 図示による												
	4 ブロック積み等（8.2.7）	目地仕上の工法 ・ 押し目地仕上げ ・ 化粧目地仕上げ												
	5 モルタル及びコンクリートの充填（8.2.8）	充填するブロックの範囲 図示による												
	6 材料（8.3.2）	3 節 コンクリートブロック帳壁及び塙 ブロックの種類、モジュール呼び寸法及び正味厚さ ・ 図示による 塙の場合で化粧有りのブロックの適用 図示による												
	7 鉄筋の加工及び組立（8.3.4）	壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 各部の配筋 図示による												
	8 材料（8.4.2）	4 節 ALCパネル パネルの区分、単位荷重、厚さ、幅、長さ、耐火性能等 図示による 耐火目地材 図示による												
								工事名	かわべ天文公園フットサルコート周辺整備工事		DATE		DRAWING NO.	
								図面名	特記仕様書（3）		SCALE		A 03	
								 ARCHITECTURAL DESIGN FIRM 株式会社 岡本設計						

10 石 工 事	12 階段の石張り (10.6.3)	石材の厚さ 図示による 石裏面処理 ・行う ・行わない 一般目地の目地幅 図示による 伸縮調整目地の位置及びシーリング材の目地寸法 ・図示による	5 紀州材	その他 本工事に使用する木材については、原則として紀州材の杉又はひのきとし、適用箇所等は図示による。 紀州材とは、県内の森林で生産され、県内で製材加工された木材及び木材加工品をいう。紀州材であることを証明する書類として「紀州材証明書」の提出が必要。（和歌山県条例第14号「和歌山県木材業者の登録に関する条例」において登録された者より購入した場合に発行される）	10 材料 (14.7.2)	7 節 アルミニウム製笠木 アルミニウム製笠木の部材の種類 ・250形 ・300形 ・350形 笠木本体の材料の表面処理の種別 図示による		
	13 特殊部位の石張り (10.7.2)	7 節 特殊部位の石張り 笠木、甲板等の石材の取付け工法 ・湿式工法 ・乾式工法 石材の厚さ 図示による 石裏面処理 ・行う ・行わない 乾式工法の場合の取付け代 ・図示による 石材の裏面の補強用モルタル ・行う ・行わない			11 工法 (14.7.3)	建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 図示による		
	(10.7.3)	隔て板の石材の厚さ ・図示による						
11 タ イ ル 工 事	① 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)	1 節 共通事項 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ・図示による	13 屋根及びとい工事	2 節 長尺金属板葺 長尺金属板の種類に応じた板及びコイルの種類、塗膜の耐久性の種類、めっき付着量、厚さ等 図示による 下葺材料の種類 図示による 屋根葺形式 図示による 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 図示による 屋根葺形式に応じた、葺板の寸法・厚さ、下地、留付け方法等 図示による 横葺の場合のけちばの適用 ・つかみ込み納め ・けちば包み納め 雪止め ・設ける ・設けない 3 節 折板葺 折板の形式、山高・山ピッチ、耐力及び材料による区分並びに厚さ 図示による 折板に使用する材料の材質の種類 図示による 軒先面戸板 ・使用する ・使用しない 折板に、断熱材張りを行う場合、断熱材の種類、厚さ、防火性能等 図示による 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 図示による 耐雪性能に応じた工法 ・図示による 4 節 粘土瓦葺 粘土瓦 種類、大きさ、産地等 図示による 役物瓦の種類、雪止め瓦の使用等 図示による J I S A 5208に基づく凍害試験等 ・行う ・行わない 瓦株木の材質、寸法等 ・図示による 棟補強用心材の材質、寸法 ・図示による 瓦繋結用釘又はねじの種類、径及び長さ 図示による 棟補強等に使用する金物等の材質、形状、寸法及び留付け方法 図示による 建築基準法に基づく風圧力又は地震力に対応した瓦の繋結方法等の工法 図示による 瓦繋結用釘又はねじの有効長さの最小値 図示による 桧木の留付け工法 図示による 棟の工法 ・7寸丸伏せ棟又はF形用冠伏せ棟 ・のし積み棟 面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部の仕上げ ・モルタル ・瓦葺き用しっくい 5 節 とい といその他の材種等 図示による とい安全物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 図示による 銅管製といの防露巻き ・図示による	1 ラス系下地 (15.2.4)	2 節 下地 ラス系下地の種類 通気工法 ・二層下地 ・単層下地 直張り工法 ・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地 外張断熱工法で断熱材の外側に断熱工法を行う形式の通気工法を行う場合 図示による ラス及び補強用ラスの材料記号、種類及び単位面積当たりの質量 ・図示による ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分 ・図示による ステープルの形状及び寸法 ・図示による 二層下地通気構法の換気口部の措置 ・図示による 直張り工法のラスシートモルタル下地のラスシートの施工で、建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合 図示による		
	2 見本焼き、試験施工 (11.1.4)	タイルの見本焼 ・行う ・行わない 試験張り ・行う ・行わない			2 節 セメントモルタルによるタイル張り タイル 図示による 役物 図示による	2 セっこうボード、 その他のボード下地 (15.2.5)	せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ 図示による 木質系セメント板の種類及び厚さ 図示による	
	③ 材料 (11.2.2)	既調合モルタル 図示による			目地詰め ・行う ・行わない	3 こまい下地 (15.2.6)	建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合の適用範囲 図示による	
12 木 工 事	④ 張付け用材料等 (11.2.3)	下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 図示による 壁タイル張りの工法 内装タイル ・改良積上げ張り 外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り ユニットタイル（内装タイル以外） ・マスク張り ・モザイクタイル張り	6 工法 (13.4.3)	4 木ずり下地 (15.2.7)	3 節 モルタル塗り モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料 既製目地材の適用及び形状 図示による			
	⑤ 施工 (11.2.6)	3 節 有機系接着剤によるタイル張り タイル 図示による 役物 図示による				6 工法 (15.3.5)	床の目地の目地割りとび種類 ・図示による 外壁タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験 ・行う ・行わない	
	6 材料 (11.3.2)	目地詰め ・行う ・行わない				7 材料 (15.6.2)	6 節 仕上塗材仕上げ 仕上塗材の種類（呼び名）、仕上げの形状及び工法 図示による 内装薄塗材及び内装厚塗材で吸放湿性を有する塗材を用いる場合の適用 図示による 複層仕上塗材の耐候性 図示による 複層仕上塗材の上塗材の樹脂、外観および溶媒の種類 図示による	
13 金 属 工 事	7 張付け用材料 (11.3.3)	シーリング材の種類 ・図示による	7 材料 (13.5.2)	8 工法 (13.5.3)	7 材料 (15.7.2)	7 節 マスチック塗材塗り マスチック塗材塗りの種別 ・A種 ・B種		
	8 シーリング材 (11.3.4)	下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 図示による 壁タイル張りの工法 内装タイル ・内装タイル接着剤張り 外装タイル ・外装タイル接着剤張り 外装タイルの目地詰め ・行う ・行わない ユニットタイル（内装タイル以外） ・外装タイル接着剤張り				8 材料 (15.7.2)	10 節 しっくい塗り 木ずり、こまい土壁塗り、せっこうラスボード又はせっこうボード以外の下地を適用する場合 図示による	
	⑨ 施工 (11.3.5)	1 木材 (12.2.1)				2 節 材料 木材の含水率 A種 ・B種 製材 図示による 造作用集成材等 図示による 造作用単板積層材 図示による 直交集成板 図示による 合板等 図示による	1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1)	2 節 表面処理 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別 ・A B - 1種 ・A B - 2種 ・A C - 1種 ・A C - 2種 ・B A - 1種 ・B A - 2種 ・B B - 1種 ・B B - 2種 ・B C - 1種 ・B C - 2種 ・C種 C種の表面処理で常温乾燥形の塗装の場合 図示による 陽極酸化皮膜の着色方法 二次電解着色 ・その他（ ） 色合等 図示による
14 タ イ ル 工 事	2 接合具等 (12.2.2)	造作材の化粧面の釘打ち 隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物の形状、寸法及び材質 図示による	2 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)	3 材料 (14.4.2)	14 材料 (15.11.2)	既調合しっくいの調合、塗厚等 ・図示による 現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚 ・図示による		
	3 防腐・防蟻処理 (12.3.1)	3 節 防腐・防蟻・防虫処理 木材への防腐・防蟻の適用部材及び処理の種類 ・薬剤の加圧注入処理等 適用部材及び保存処理性能区分 図示による ・薬剤の塗布等 附属書A（規定）に基づく表面処理用木材保存剤による処理の適用、薬剤の種類及び適用部材 図示による 処理の方法 ・図示による 薬剤の製造所の仕様 ・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 図示による ・合板等の加圧注入処理等による防腐・防蟻処理の適用 図示による				2 鉄鋼の亜鉛めっきの種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種	13 工法 (15.10.4)	既調合しっくいの上塗りの仕上げ工法の種別 ・で切り仕上げ ・パターン仕上げ
	4 防虫処理 (12.3.2)	防虫処理の適用 図示による				4 節 軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類 屋内 19形 ・25形 屋外 19形 25形	15 調合 (15.11.3)	下塗りの調合 ・図示による
15 タ イ ル 工 事	4 防虫処理 (12.3.2)	4 節 鉄筋コンクリート造等の内部間仕切軸組及び床組 図示による	4 形式及び寸法 (14.4.3)	屋外の場合の野縁受け、つりボルト及びインサートの間隔並びに周辺部の端からの距離 図示による 屋外の場合の野縁の間隔 図示による	16 塗厚 (15.11.4)	11 節 こまい壁塗り 土壁用ののりの種類 つのまた ・その他（ ） 砂壁用ののりの種類 ふのり ・その他（ ） 土物仕上げに用いる土色の種類 図示による 大津仕上げに用いる土色の種類 図示による 砂色の種類 図示による		
	5 節 窓、出入口その他 図示による	5 工法 (14.4.4)				つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 図示による 天井のふところが3mを超える場合の補強方法 図示による 天井下地材における耐震性を考慮した補強 図示による 屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 図示による	17 工程 (15.11.5)	こまい壁の工程の種別 A種 ・B種
	6 節 床板張り 図示による	6 形式及び寸法 (14.5.3)				5 節 軽量鉄骨壁下地 スタッド、ランナ等の種類 ・50形 ○65形 ○90形 ・100形 スタッドの高さが5mを超える場合のスタッド、ランナ等の種類 図示による	18 土物仕上げ (15.11.7)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による
16 タ イ ル 工 事	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 工法 (14.5.4)	出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ・図示による	19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による		
	6 節 床板張り 図示による	8 材料 (14.6.2)				6 節 金属成形板張り 金属成形板の種類及び表面処理 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
17 タ イ ル 工 事	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 節 壁及び天井下地 図示による	8 材料 (14.6.2)	取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による	19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
18 タ イ ル 工 事	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)	取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による	19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
19 タ イ ル 工 事	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)	取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による	19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
20 タ イ ル 工 事	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)	取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による	19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
21 タ イ ル 工 事	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)	取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による	19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
22 タ イ ル 工 事	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)	取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による	19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
23 タ イ ル 工 事	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)	取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による	19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
24 タ イ ル 工 事	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)	取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による	19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
25 タ イ ル 工 事	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)	取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による	19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
26 タ イ ル 工 事	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)	取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による	19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
27 タ イ ル 工 事	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)	取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による	19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
28 タ イ ル 工 事	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)	取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による	19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
29 タ イ ル 工 事	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)	取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による	19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
30 タ イ ル 工 事	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)	取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による	19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
31 タ イ ル 工 事	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)	取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による	19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
32 タ イ ル 工 事	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)	取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による	19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
33 タ イ ル 工 事	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)	取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による	19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
34 タ イ ル 工 事	7 節 壁及び天井下地 図示による	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)	取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による	19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 図示による ちりじゃくり 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
	7 節 壁及び天井下地 図示による	9 工法 (14.6.3)				取付け用下地 図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 図示による		
35 タ タ								


15	20	配合及び密度等 (15.12.3)	12節 ロックウール吹付け 仕上げ吹付け厚さ 図示による	25	鍵 (16.8.4)	マスターキー ・製作する ・製作しない 鍵の製作本数等 図示による	6	材料 (17.3.2)	3節 P Cカ - テンウォ - ル コンクリートの種類 図示による コンクリートの品質 図示による 鉄筋の種類と記号 S D 2 9 5 A ・その他 () 補強鉄線の径及び綱目寸法 図示による シーリング材の種類 図示による 耐火具地材 図示による 断熱材 図示による 先付け材料の仕上げ材 (タイル等) 、 建具枠、ゴンドラ用ガイドレール等 図示による						
	16	1 防火戸 (16.1.3)	1 節 一般事項 防火戸の指定 図示による 防火戸の自動開鎖機構及び防火戸について、ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動させる場合 図示による		26	性能 (16.9.2)		9 節 自動ドア開閉装置 駆動装置の性能値 図示による 多機能トイレ出入口に設置される引き戸用駆動装置の性能値 図示による 検出装置の性能 図示による	7	形状及び仕上げ (17.3.3)	製品の見え掛け部の寸法許容差 図示による P Cカ - テンウォ - ルの仕上げ 図示による 構造ガasketを用いる場合のアンカ - 溝の寸法及び寸法許容差 図示による				
建 具 工 事	2	見本の製作等 (16.1.4)	建具見本 ・製作する ・製作しない 特殊な建具の仮組 ・実施する ・実施しない	27	機構 (16.9.3)	戸の開閉方式 図示による 引き戸用検出装置の種類 図示による 凍結防止措置を行う場合 図示による	塗装 工 事	8	製作 (17.3.4)	鉄筋の配筋 図示による					
	3	その他(16.1.6)	防犯建物部品の適用 図示による	28	性能等 (16.10.3)	10 節 自閉式上吊り引戸装置 自閉式上吊り引戸装置の性能 図示による		9	取付け (17.3.5)	カ - テンウォ - ル部材の取付け位置の寸法許容差 図示による					
	4	性能及び構造 (16.2.2)	2 節 アルミニウム製建具 耐風圧性、気密性及び水密性の等級並びに枠の見込み寸法 図示による 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 図示による 断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 図示による 耐震ドアとする場合の面内変形追随性の等級 図示による	29	形式及び機構 (16.11.2)	11 節 重量シャッター - シャッター - の種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 図示による 開閉方式の種類 電動式 (手動併用) ・手動式 電動式シャッター - の急降下制動装置又は急降下停止装置の設置箇所 図示による 電動式シャッター - の障害物感知装置の設置箇所 図示による 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの設置箇所 図示による シャッターケース ・設ける ・設けない	内 装 工 事	10	ガラスの取付け (17.3.6)	構造ガasketを用いるガラスの取付け 図示による					
	5	材料 (16.2.3)	防虫網の材質、線径及び綱目 図示による 防鳥網の適用 図示による	30	材料 (16.11.3)	スラット及びシャッターケース用鋼板の種類及びめっきの付着量 図示による		18	1 各部の素地ごしらえ (18.2.2) (18.2.3) (18.2.4) (18.2.5) (18.2.6) (18.2.7)	2 節 素地ごしらえ 各素地における素地ごしらえの種類 木部 ・A種 ・B種 鉄鋼面 ・A種 ・B種 ・C種 亜鉛めっき鋼面 ・A種 ・B種 モルタル面及びせっこうプラスター面 ・A種 B種 コンクリート面及びA L Cパネル面 ・A種 ・B種 せっこうボード面及びその他ボード面 ・A種 ・B種					
	6	形状及び仕上げ (16.2.4)	建具の枠の見込み寸法 図示による アルミニウムの表面処理の種類、標準色・特注色の別等 図示による 結露水の処理方法 図示による	31	形式及び機構 (16.12.2)	12 節 軽量シャッター - 開閉方式の種類 ・電動式 (手動併用) 手動式 耐風圧強度 図示による		2	塗料種別 (18.3.2)	鉄鋼面の錆止め塗料の種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料の種類 ・A種 ・B種 ・C種					
	7	工法 (16.2.5)	水切り板、ぜん板等 図示による 内付け建具の適用 図示による	32	材料 (16.12.3)	スラットの材質の種類及びめっきの付着量 図示による		3	錆止め塗料塗り (18.3.3)	鉄鋼面の錆止め塗料塗りの種別 ・A種 ・B種 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料塗りの種別 ・A種 ・B種					
	8	性能及び構造 (16.3.2)	3 節 樹脂製建具 耐風圧性、気密性及び水密性の等級並びに枠の見込み寸法 図示による 外部に面する建具を木下地に取り付ける場合の種類 図示による 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ・T-1 ・T-2 断熱ドアセット、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 図示による 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 図示による	33	形状及び仕上げ (16.12.4)	スラットの形状 ・インターロック型形 ・オーバーラッピング形		4	各塗り等の種別 (18.4.2) (18.4.3) (18.5.2) (18.6.2) (18.7.2) (18.7.3) (18.7.4) (18.8.2) (18.8.4) (18.9.2) (18.10.2) (18.11.2) (18.12.2)	4 節 合成樹脂調合ペイント塗り (S O P) 5 節 クリヤラック - 塗り (C L) 6 節 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (N A D) 7 節 耐候性塗料塗り (D P) 8 節 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (E P - G) 9 節 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (E P) 10 節 ウレタン樹脂ワニス塗り (U C) 11 節 ステン塗り 12 節 木材保護塗料塗り (W P)					
	9	材料 (16.3.3)	ガラス 複層ガラス ・その他 ()	34	形式及び機構 (16.13.2)	13 節 オーバーヘッドドア セクション材料による区分 スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスタイプ 耐風圧性能の区分 図示による 開閉方式による区分 バランス式 ・チェーン式 ・電動式 収納形式による区分 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形			19	1 材料 (19.2.2)	2 節 ビニル床シ - ト、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り ビニル床シ - トの種類と記号、色柄、厚さ等 図示による ビニル床タイルの種類と記号、色柄、寸法、厚さ等 図示による 帯電防止床シ - トの種類、性能、厚さ等 図示による 帯電防止床タイルの種類、性能、寸法、厚さ等 図示による 視覚障害者用床タイルの種類、形状 図示による 耐動荷重性床シ - トの種類、厚さ等 図示による 防滑性床シートの種類、厚さ等 図示による 防滑性床タイルの種類、寸法、厚さ等 図示による ビニル幅木の材質の種類、厚さ、高さ等 図示による ゴム床タイルの色柄、種類、厚さ、寸法等 図示による 接着剤の施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合 図示による				
	10	形状及び仕上げ (16.3.4)	建具の枠の見込み寸法 図示による 表面色 ・標準色 ・特注色	35	材料 (16.13.3)	ガイドレ - ルに使用する材料 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板			2	施工 (19.2.3)	ビニル床シ - ト張りの接合部の処理の工法 熱溶接工法 ・その他 ()				
	11	性能及び構造 (16.4.2)	4 節 鋼製建具 簡易気密型ドアセットの適用 図示による 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 図示による	36	材料 (16.14.2)	14 節 ガラス 板ガラスの種類、品種及び厚さ等 図示による ガラス留め材の種類 ・シ - リング (種類記号：) ・ガasket (種類記号：)									
	12	材料 (16.4.3)	点検口の類 図示による	37	ガラス溝の寸法、 形状等 (16.14.3)	板ガラスをはめ込む溝の大きさ 建具の製造所の仕様 ・その他 ()									
	12	形状及び仕上げ (16.4.4)	鋼板類の厚さ 図示による	38	ガラスブロック積み (16.14.5)	ガラスブロックの表面形状、呼び寸法及び厚さ 図示による 壁用金属枠及び補強材 図示による 骨格の材質、寸法及び形状 図示による 化粧目地モルタルの色 図示による シ - リング材の種類 図示による 金属製化粧カバーの材質、寸法及び形状 図示による 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 図示による ガラスブロックの目地幅の寸法 図示による 伸縮調整目地の位置 図示による 目地部の横力骨の納まり ガラスブロックの製造所の仕様 ・その他 ()									
	13	性能及び構造 (16.5.2)	5 節 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセットの適用 図示による	17	カ ー テ ン ウ ォ ー ル 工 事	1 節 共通事項 カーテンウォールの耐風圧性、耐震性、水密性、気密性、耐火性、耐温度差性、遮音性、断熱性等の諸性能値 図示による 性能の確認方法及び判定方法 図示による									
	14	材料 (16.5.3)	鋼板類の種類 図示による 召合せ、縦小口包み板等の材質 鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金	1		性能 (17.1.3)		2 節 メタルカーテンウォール カーテンウォールに使用する金属材料の種類 図示による シーリング材の種類 図示による ガラス取付け材料のシーリング材の種類 図示による ガラス取付け材料の構造ガasketの材質・形状等 図示による 断熱材 図示による							
	15	形状及び仕上げ (16.5.4)	鋼板類の厚さ 図示による	2	材料 (17.2.2)	製品の寸法許容差 図示による 製品の見え掛け部分の仕上げ 図示による ガラス溝の寸法、形状等 カーテンウォールの製造所の仕様 ・その他 ()									
	16	材料 (16.6.3)	6 節 ステンレス製建具 ステンレス鋼板の種類 図示による	3	形状及び仕上げ (17.2.3)	製品の寸法許容差 図示による 製品の見え掛け部分の仕上げ 図示による ガラス溝の寸法、形状等 カーテンウォールの製造所の仕様 ・その他 ()									
	17	形状及び仕上げ (16.6.4)	表面仕上げ H L ・その他 ()	4	取付け (17.2.5)	躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 図示による カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 図示による									
	18	工法 (16.6.5)	ステンレス鋼板の曲げ加工 普通曲げ ・角出し曲げ	5	ガラスの取付け (17.2.6)	ガラスの取付け 図示による									
	19	材料 (16.7.2)	7 節 木製建具 建具材の加工、組立時の含水率の種類 A種 ・B種 フラッシュ戸の表面材の種類と適用 図示による 表面材の品質等、材料のホルムアルデヒド放散量等 図示による ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) の表裏面の状態による区分、曲げ強さによる区分、 接着剤による区分及び難燃性による区分 図示による かまち及び鏡板の樹種 図示による ふすまの材料の種類 ・型 ・型 ふすま紙の上張りの種類 図示による 枠及びくずりの材料 図示による	1	性能 (17.1.3)	2 節 ビニル床シ - ト、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り ビニル床シ - トの種類と記号、色柄、厚さ等 図示による ビニル床タイルの種類と記号、色柄、寸法、厚さ等 図示による 帯電防止床シ - トの種類、性能、厚さ等 図示による 帯電防止床タイルの種類、性能、寸法、厚さ等 図示による 視覚障害者用床タイルの種類、形状 図示による 耐動荷重性床シ - トの種類、厚さ等 図示による 防滑性床シートの種類、厚さ等 図示による 防滑性床タイルの種類、寸法、厚さ等 図示による ビニル幅木の材質の種類、厚さ、高さ等 図示による ゴム床タイルの色柄、種類、厚さ、寸法等 図示による 接着剤の施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合 図示による									
	20	形状及び仕上げ (16.7.3)	フラッシュ戸の表面板の厚さ 図示による 各木製建具の見込み寸法 図示による	2	材料 (17.2.2)	カーテンウォールに使用する金属材料の種類 図示による シーリング材の種類 図示による ガラス取付け材料のシーリング材の種類 図示による ガラス取付け材料の構造ガasketの材質・形状等 図示による 断熱材 図示による									
	21	工法 (16.7.4)	フラッシュ戸の工法で引戸の定規縁の召合せかまちをいれろう付きとする場合 図示による ふすまの縁の仕上げ 図示による	3	形状及び仕上げ (17.2.3)	製品の寸法許容差 図示による 製品の見え掛け部分の仕上げ 図示による ガラス溝の寸法、形状等 カーテンウォールの製造所の仕様 ・その他 ()									
	22	一般事項 (16.8.1)	8 節 建具用金物 既製金物又はこれに準ずる金物のうち、機能上必要な最小限のもの 建具の製造所の仕様 ・その他 ()	4	取付け (17.2.5)	躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 図示による カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 図示による									
	23	材質、形状及び寸法 (16.8.2)	金物の種類及び見え掛け部の材質 図示による 金属製建具用の丁番の枚数及び大きさ 図示による 樹脂製建具用の丁番の枚数及び大きさ 図示による 木製建具用の丁番の枚数及び大きさ 図示による 木製建具用の戸車及びレール 図示による	5	ガラスの取付け (17.2.6)	ガラスの取付け 図示による									
	24	取付け施工 (16.8.3)	握り玉及びレバ - ハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置 図示による												
									工事名	かわべ天文公園フットサルコート周辺整備工事		DATE		DRAWING.NO. A 05	
									図面名	特記仕様書 (5)		SCALE			
										 ARCHITECTURAL DESIGN FIRM 株式会社 岡 本 設 計					

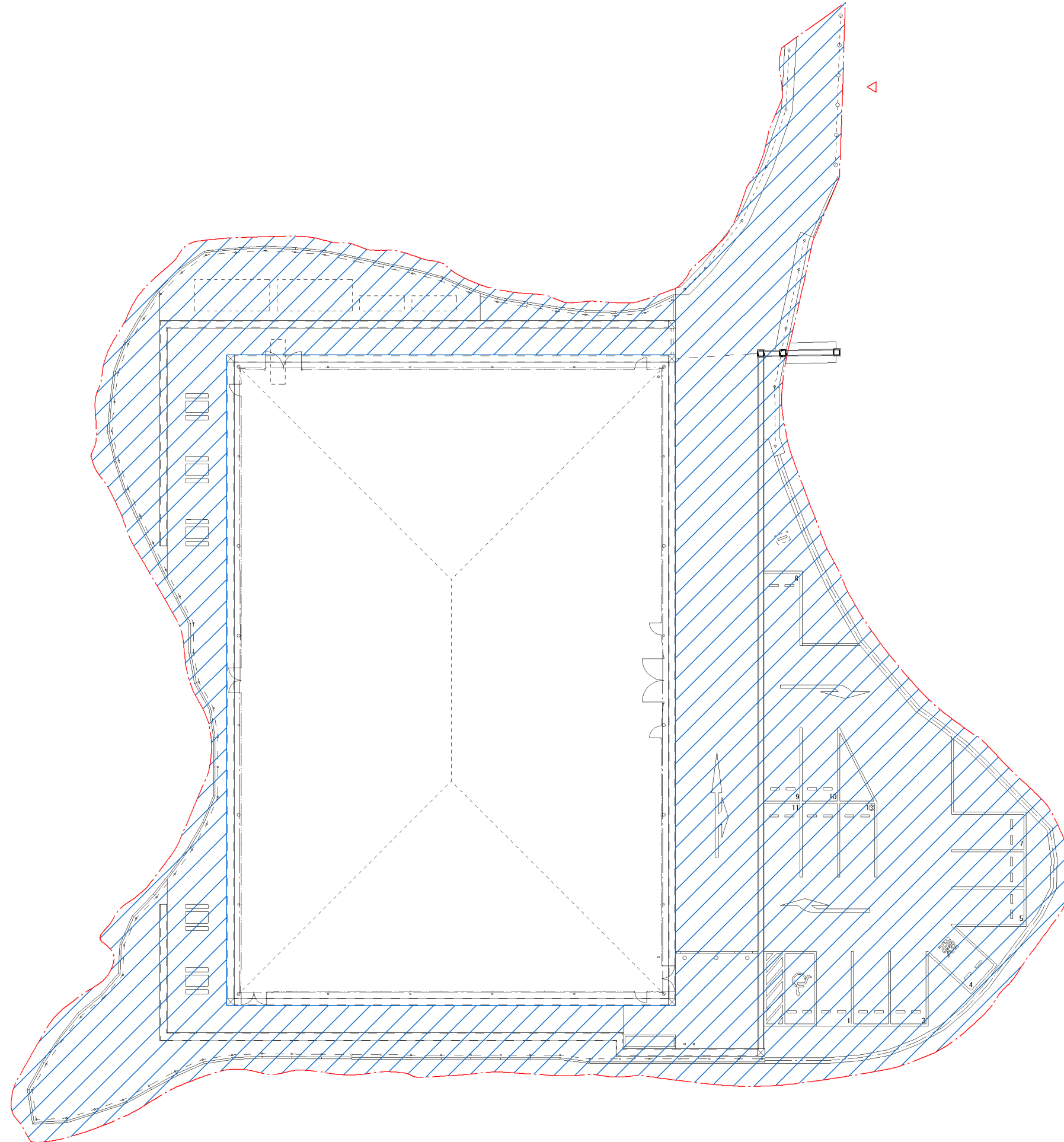
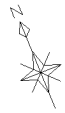
19 内 装 工 事	3材料及び工法 (19.3.2) (19.3.3)	3節 カ・ベツ敷き 織じゅうたんの種別、織り方、パイルの形状、色柄、パイル糸の種類及び帯電性 図示による 織じゅうたんの接合方法 ヒートボンド工法 ・その他() タフテッドカ・ベツのパイルの形状、パイル長及び帯電性 図示による タフテッドカーベツの工法 ・グリッパ・工法 ・全面接着工法 タイルカ・ベツの種類、パイルの形状、寸法、総厚さ及び敷き方等 図示による 下敷き材 ・図示による 取付け用付属品である見切り、押え金物の材質、種類及び形状 図示による	6 階段滑り止め (20.2.7)	材種、形状、寸法等 図示による 取付け工法の種類 接着工法 ・埋込み工法	23 植 栽 及 び 屋 上 緑 化 工 事	⑤ 路盤の厚さ及び仕上り (22.3.2)	3節 路盤 路盤の厚さ 図示による										
	4材料及び工法 (19.4.2) (19.4.3)	4節 合成樹脂塗床 弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上りの種類 平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ エポキシ樹脂系塗床の工法及び仕上りの種類 ・薄膜流しのペ工法 ・厚膜流しのペ工法 ・樹脂モルタル工法 ・平滑仕上げ ・防滑仕上げ	7 黒板及びホワイト ボード(20.2.9)	黒板 図示による ホワイトボード 図示による		⑥ 材料(22.3.3)	路盤材料の種別 図示による										
	5材料(19.5.2)	5節 フローリング張り フローリングの種類 図示による	8 鏡(20.2.10)	鏡の厚さ 5mm ・その他()		⑦ 舗装の構成及び仕上り (22.4.2)	4節 アスファルト舗装 アスファルト舗装の構成及び厚さ 図示による 舗装の平たん性 ・図示による										
	6 工法一般等(19.5.3) (19.5.4)	フローリング張りの工法 ・釘留め工法 ・根太張り工法 ・直張り工法 ・フローリングボード ・樹種 図示による ・複合フローリング 樹種 図示による 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・接着工法 フローリングの適用 ・フローリングボード ・複合フローリング ・フローリングブロック フローリングの厚さ、幅、長さ及び樹種 図示による 複合フローリングの表層 図示による フローリング裏面の不陸緩和材 合成樹脂発泡シート ・その他()	9 表示(20.2.11)	ガラススクリーンに対する対人衝突防止表示の形状、寸法、材質等 図示による 非常用進入口等の表示の適用 図示による 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 図示による		⑧ 材料(22.4.3)	再生アスファルトの種類 図示による										
	(19.5.5)	6節 畳敷き 畳の種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 D種の場合の畳床記号 ・KT・ ・KT・ ・KT・ ・KT・K ・KT・N 衝撃緩和型畳の畳表 ・C1 ・C2 ・畳製造所の仕様	10 タラップ(20.2.12)	種類及び仕上げ ・図示による		⑨ 配合その他(22.4.4)	表層の加熱アスファルト混合物等の種類 図示による										
			11 煙突ライニング (20.2.13)	煙突用成形ライニング材の適用安全使用温度() 工法()		⑩ 試験(22.4.6)	アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない										
	7 材料(19.6.2)	6節 フローリング張り フローリングの種類 図示による	12 ブラインド(20.2.14)	・横型 種類、幅、高さ及びスラットの幅並びにスラット、ヘッドボックス及びボトムレールの材種 図示による ・縦型 幅及び高さ並びに開閉方式及び操作方法 図示による スラット ・焼付け塗装仕上りのアルミスラット ・消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工のクロススラット スラットの幅 図示による		⑪ 舗装の構成及び仕上り (22.5.2)	5節 コンクリ・ト舗装 コンクリ・ト舗装の構成及び厚さ 図示による										
	8 材料(19.7.2)	7節 セっこうボード、その他ボード及び合板張り セっこうボード、その他のボード類の種類、厚さ等 図示による 合板の樹種名、板面の品質、厚さ及び防虫処理等 図示による	13 ロールスクリーン (20.2.15)	ロールスクリーンの操作方式、幅及び高さ 図示による スクリーンの材種、品質等 図示による 巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ロールスクリーンの製造所の仕様 ・その他()		⑫ 材料(22.5.3)	コンクリ・トの種類、設計基準強度、スランプ及び粗骨材の最大寸法 ・図示による 早強ポルトランドセメントを用いる場合 図示による 注入目地材料の種別 低弾性タイプ ・高弾性タイプ										
	9 工法(19.7.3)	合板類の張付けの種別 ・A種 ・B種 セっこうボードの目地工法の種類 ・継目処理工法 ・突付け工法 ・目透し工法	14 カーテン及び カーテンレール (20.2.16)	カーテンのシングル・ダブルの別、片引き・引分け等の形式、開閉操作方式 図示による カーテン用生地の種類、品質、特殊加工等 図示による カーテンレールのレール及びブラケットの強さによる区分、レールの材料による区分、レールの仕上げ及び形状 ・図示による カーテンのひだの種類 ・フランスひだ(三つひだ) ・箱ひだ、つまひだ(二つひだ) ・ブレンひだ、片ひだ 暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり 300mm以上 ・その他() カーテン用付属金物のフック 鋼製 ・樹脂製		⑬ 施工(22.5.4)	コンクリート版の目地の種類及び間隔 ・エラストイト 目地の構造 ・図示による										
	10 材料(19.8.2)	8節 壁紙張り 壁紙の種類及び防火性能 図示による	15 材料(20.3.2)	3節 プレキャストコンクリ・ト工事 補強鉄筋の径及び網目寸法 図示による		14 舗装の構成及び仕上り (22.6.2)	6節 カラー舗装 カラー舗装の種類 ・加熱系 ・常温系 加熱系カラー舗装 構成及び厚さ 図示による 表層に用いる加熱系混合物の結合材の種類 図示による 舗装の平たん性 ・図示による 常温系カラー舗装 工法 図示による 着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装										
	11 施工(19.8.3)	モルタル面及びセっこうプラスチック面の素地ごしらえ ・A種 B種 コンクリート面の素地ごしらえ ・A種 B種 セっこうボード面の素地ごしらえ ・A種 B種	16 製作(20.3.3)	コンクリ・トの設計基準強度(Fc) ・図示による 鉄筋の配筋 ・図示による		15 材料(22.6.3)	加熱系混合物に添加する着色骨材又は自然石 図示による										
	12 断熱材打込み工法 (19.9.3)	9節 断熱・防露 断熱材の種類及び厚さ 図示による	17 養生その他(20.3.4)	取付け方法 図示による		16 配合その他(22.6.4)	加熱系混合物の配合その他 図示による ニート工法及び塗布工法の配合その他 図示による										
	13 断熱材現場発泡工法 (19.9.4)	断熱材の種類 ・A種1 ・A種1H 断熱材の吹付け厚さ 図示による	18 材料及び工法 (20.4.2) (20.4.3)	4節 間知石及びコンクリ・ト間知ブロック積み 間知石の材種 図示による 間知石積み の積み方 ・布積み 谷積み 間知石積み の目塗り、伸縮調整目地の材種、厚さ等 図示による コンクリ・ト間知ブロックの種類及び質量区分 図示による		17 試験(22.6.6)	加熱系混合物の抽出試験 ・行う ・行わない										
20 ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 の 工 事	1 フリーアクセスフロア (20.2.2)	2節 ユニット工事等 フリーアクセスフロア及び表面仕上材の寸法、フリーアクセスフロア高さ、耐震性能、 所定荷重、帯電防止性能、漏えい抵抗 図示による フリーアクセスフロアの耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能 ・図示による 寸法精度 ・図示による	21排水工事	18 舗装の構成及び仕上り (22.7.2)	7節 透水性アスファルト舗装 透水性アスファルト舗装の構成 図示による 舗装の平たん性 ・図示による												
	2 可動間仕切(20.2.3)	可動間仕切の構造形式による種類、構成基材の種類及び遮音性 図示による パネル表面仕上げ 図示による パネル内に取り付ける建具の寸法及び形状 図示による	22舗装工事	19 試験(22.7.6)	開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない												
	3 移動間仕切(20.2.4)	パネルの操作方法による種類並びにパネル表面材の材質及び仕上げ 図示による パネル圧接装置の操作方法 図示による 遮音性能 図示による ハンガーレール取付け下地の補強 ・図示による パネルをランナーに取り付ける部品 ・図示による ハンガーレール ・図示による ランナー ・図示による ハンガーレールの躯体又は下地補強材への固定にあと施工アンカーを使用する場合の材質、寸法等 図示による		⑫ 舗装の構成及び仕上り 、材料 (22.8.2) (22.8.3)	8節 ブロック系舗装 コンクリ・ト平板舗装 目地材 ・砂 ・モルタル クッション材 ・砂 ・空練りモルタル 平板の種類、寸法及び厚さ 図示による インタ・ロッキングブロック舗装 種類、形状、寸法、厚さ、曲げ強度、表面加工等 図示による 鋪石舗装 基層 ・アスファルト混合物 ・コンクリート版 基層の厚さ アスファルト混合物 50mm ・その他() コンクリート版 70mm ・その他() クッション材 砂 ・空練りモルタル 石材の種類、形状、寸法及び厚さ 図示による 仕上り面の平たん性 ・図示による												
	4 トイレブース (20.2.5)	パネル表面材 ・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 脚部の種類 幅木タイプ ・その他() ドアエッジの材質 トイレブースの製造所の仕様 ・その他()		⑪ 舗装の構成及び仕上り (22.9.2)	9節 砂利敷き 砂利敷きの種別 ・図示による												
	5 手すり(20.2.6)	種類及び仕上げ 図示による															
						工事名	かわべ天文公園フットサルコート周辺整備工事		DATE		DRAWING NO.						
						図面名	特記仕様書(6)		SCALE		A 06						
						ARCHITECTURAL DESIGN FIRM 株式会社 岡 本 設 計											

23 植 栽 及 び 屋 上 緑 化 工 事	6 新植の工法 (23.3.3)	支柱 ・ 添え柱形 ・ 鳥屋形 ・ ハッ掛け形 ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形
	7 新植樹木の枯補償 (23.3.4)	新植樹木の枯補償の期間 引渡しの日から1年 ・ その他 ()
	8 移植樹木の枯損処置 (23.3.6)	移植樹木の枯損処置を行う期間 引渡しの日から1年 ・ その他 ()
	9 材料 (23.4.2)	4節 芝張り、吹付けは種及び地被類 芝の種類 コウライシバの類 ・ ノシバの類 吹付けは種用種子の種類 洋芝類 ・ その他 () 吹付けは種用種子の量 図示による 地被類の植物の種類、芽立数、径及び単位面積当たりの株数 図示による
	10 芝張りの工法 (23.4.3)	芝張り 平地 目地張り ・ べた張り 法面 ・ 目地張り べた張り
	11 芝張り、吹付けは種及び地被類の枯補償 (23.4.7)	芝及び地被類の枯補償の期間 引渡しの日から1年 ・ その他 ()
	12 植栽基盤 (23.5.2)	5節 屋上緑化 屋上緑化システムの土壌層の厚さ 図示による
	13 材料 (23.5.3)	排水層の種類 ・ 軽量骨材 ・ 透水排水管 ・ 板状成形品 軽量骨材の層の厚さ 図示による 土壌層の植込み用土の種類 ・ 人工軽量土 改良土 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数並びに刈込みものの適用及び数量 図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 図示による
	14 工法 (23.5.4)	風圧力に対応した工法 図示による 支柱の設置及び形式 図示による かん水装置の設置及び種類 図示による
	15 新植樹木、芝及び地被類の枯補償 (23.5.5)	新植樹木の枯補償の期間 引渡しの日から1年 ・ その他 () 芝及び地被類の枯補償の期間 引渡しの日から1年 ・ その他 ()

				工事名	かわべ天文公園フットサルコート周辺整備工事	DATE		DRAWING NO.	
				図面名	特記仕様書 (7)	SCALE		A	07
				 ARCHITECTURAL DESIGN FIRM 株式会社 岡 本 設 計					



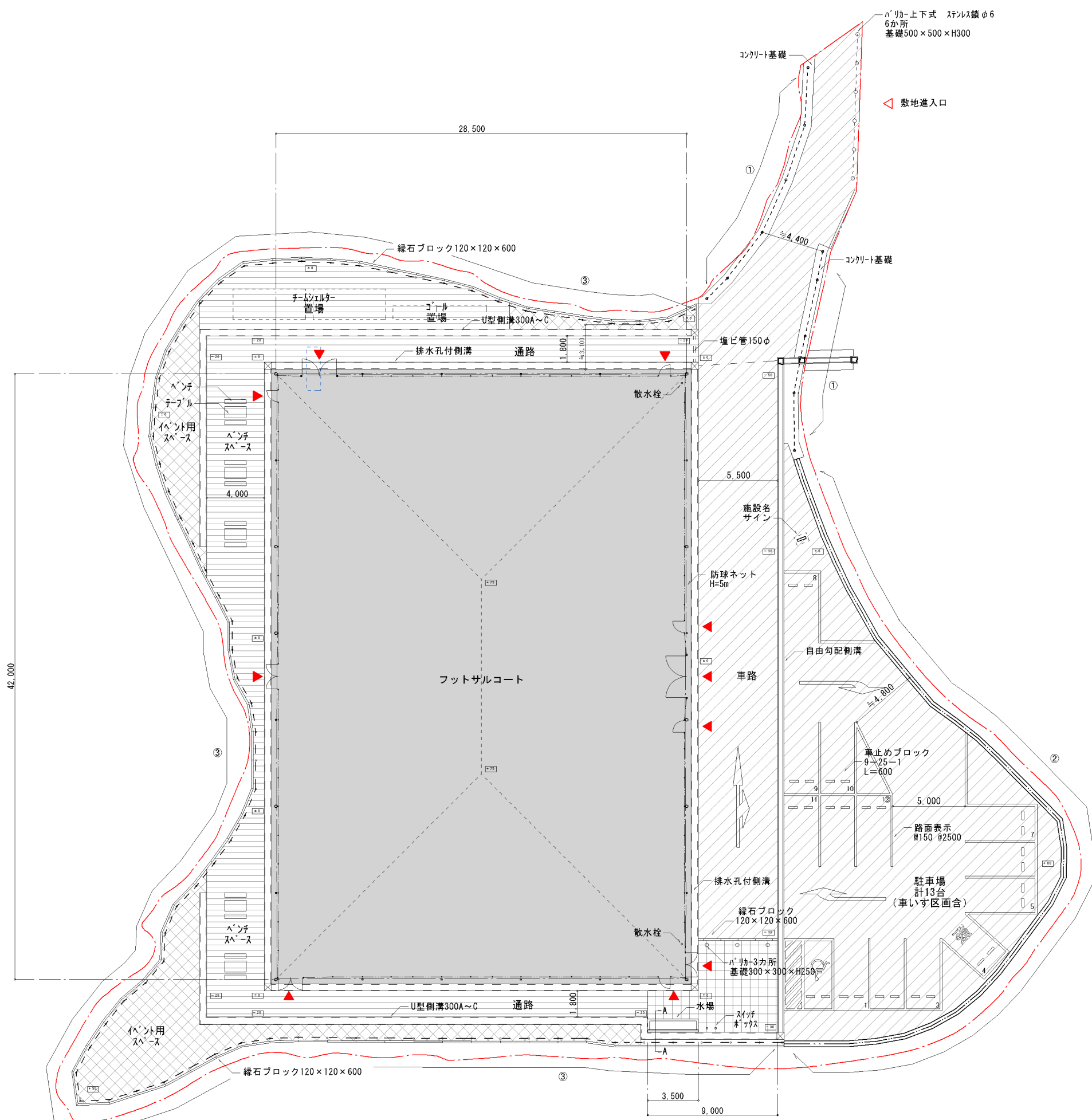
工 事 名	かわべ天文公園フットサルコート周辺整備工事	DATE		DRAWING NO. A / 08
図 面 名	全体配置・撤去図	SCALE	1/600 (A1)	
 ARCHITECTURAL DESIGN FIRM 株式会社 岡 本 設 計				



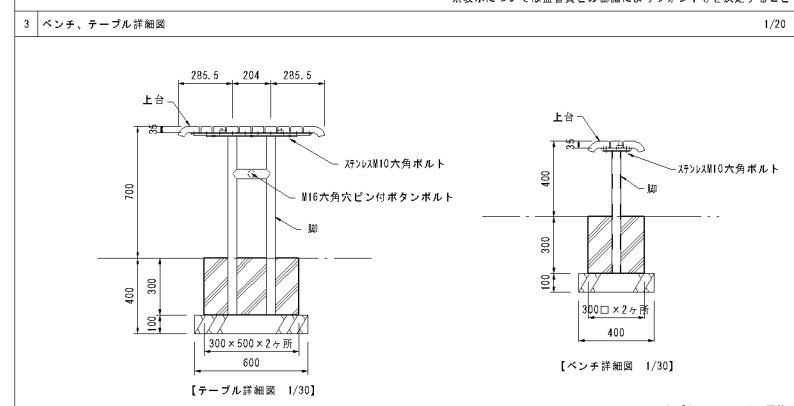
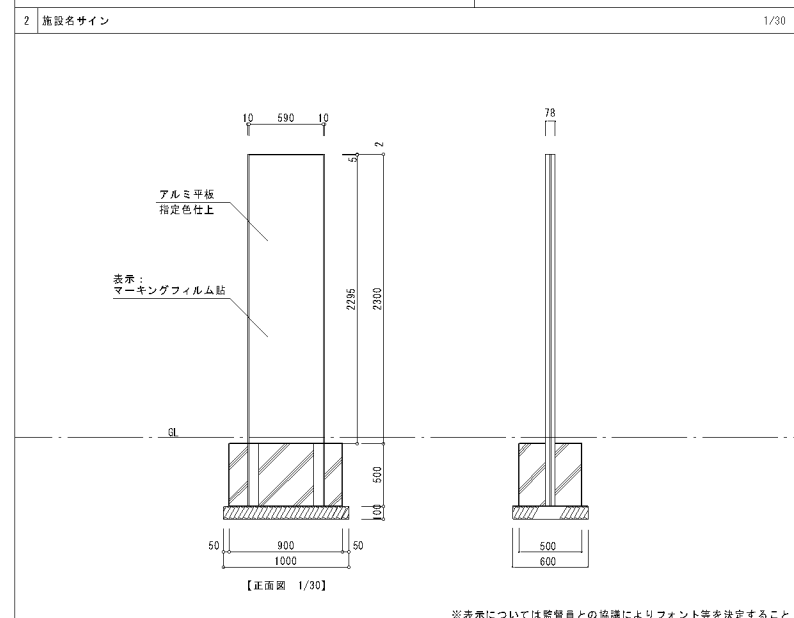
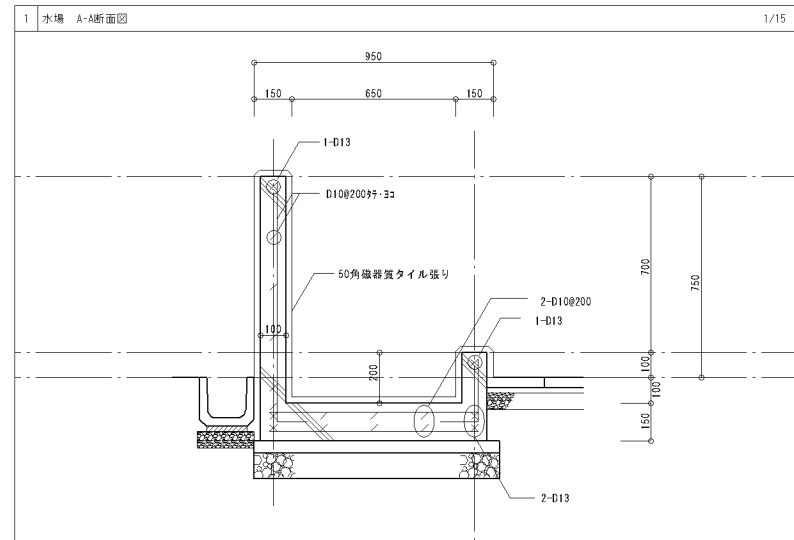
今回建築工事範囲 (側溝は除く)

工事区分図 1/150

工事名	かわべ天文公園フットサルコート周辺整備工事	DATE		DRAWING NO.
図面名	工事範囲図	SCALE	1/150 (A1)	A / 09
ARCHITECTURAL DESIGN FIRM 株式会社 岡本設計				



凡例	内容	備考
	砂利舗装 8種 (砂利t60、防草シートt0.4) 159.43㎡	
	コンクリート舗装 C-7-10 332.58㎡	
	アスファルト舗装 A-5-15 762.22㎡	
	平板ブロック舗装 歩道用 (平板t80、敷き砂t30、砕石t100) 42.56㎡	
	人工芝 (人工芝t55、間接電線t50、砕石t400) 1230.85㎡	
	ガードレール Gr-C-4E 土中用 景観色	①
	車両防護柵H100	②
	フェンスH1200 L=147.4m 朝日スチールARフェンス同等 基礎: 180×180×450	③
	防球ネットH5000 朝日スチール防球ネット同等 基礎: 180×180×450	
	緑石ブロック (舗装見切り) 120×120×600	
	切土境界ライン	



工事名		かわべ天文公園フットサルコート周辺整備工事		DATE		DRAWING NO.	
図面名		配置図		SCALE	1/150 (A1)	A	10
		ARCHITECTURAL DESIGN FIRM 株式会社 岡本設計					

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

1. 工事年度及び番号

令和 年度 第 号

2. 工事名称

かわべ天文公園フットサルコート整備工事

3. 工事場所

日高郡日高川町和佐2107-1

4. 建物概要

	建物名称	主体構造	階数	延床面積（㎡）	備考
1					
2					
3					

5. 工事種目

工事種別	建 物			屋外	備考
	1	2	3		
衛生器具設備					
給水設備	○				
給湯設備					
排水通気設備					
ガス設備					・ 都市ガス ・ L Pガス
消火設備					
厨房器具設備					
浄化槽設備					
空気調和設備					
換気設備					
オゾン脱臭設備設備					
撤去工事					

II 工事区分

	項目	建築	電気	機械
1	パイプシャフト、ダクトスペース等の点検口			
2	天井点検口			
3	2重スラブ内の連通管及びマンホール類の設置			
4	排水槽類の躯体、仕上げ及びマンホール類の設置			
5	建物内の排水溝、配管ピット（仕上げ共）			
6	建物外壁に取り付く給排水用ガラの製作、設置			
7	ドアガラリ			
8	吹き出し口等の取付のための開口部の枠組み補強			
9	R C造等の設備用躯体貫通、半貫通部の鉄骨補強			
10	ルーフドレン類及び壁樋の設置			
11	既製流し台類、ガス台及び戸棚の設置			
12	既製浴槽の設置（バランス釜使用の場合は釜共）			
13	一般換気扇の設置（壁掛形）			
14	ガス漏れ警報設備			
15	自動制御壁の製作設置			
16	機器類及び制御壁への電源供給			
17	防煙ダンパー用自動閉鎖装置			
18	同上用煙感知器、制御壁、配管配線装置			
19	ダクト付属の換気ファン類の設置			
20	同上貫通部分のスリーブ、箱等の製作設置			
21	別途流し台類への配管接続			
22	別途機器類の配管接続			
23	機器類付属制御壁とその2次配線			
24	機器類付属制御壁からの信号配線			
25	機器類の基礎			

III 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項はすべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書〔機械設備工事編〕（最新版）公共建築改修工事標準仕様書〔機械設備工事編〕（最新版）（以下「標準仕様書」という。）及び同監修公共建築設備工事標準図〔機械設備工事編〕（最新版）による。

(2) 建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書〔建築工事編〕（最新版）〔電気工事編〕（最新版）による。

2. 特記仕様

（○印をつけたものを適用する）

種目	項目	特記事項															
一般	機材	●使用機材標準メーカー表によるほか、同等品以上とする。 （同等品以上を使用する場合は係員の承認を受ける） ●設計図書内の品番等については、参考とする。 ●工事用電力、水及び試運 転調整に要する費用は請負者の負担とする。															
	工事用電力、水・その他																
	主任技術者資格 (共仕1、2、3)	・ 資格区分Ⅰ ● 資格区分Ⅱ															
	技能士の適用	● 配管一級技能士 ・ 建築板金一級技能士 ・ 熱絶縁一級技能士															
	工事写真	● 工事写真は建設大臣官庁営繕部監修（工事写真の撮り方、建築設備編）下記のものを係員の指示する規定の台紙に添付し、撮影箇所を明記して、提出する。 <table><thead><tr><th>区分</th><th>分類・規格</th><th>部数</th><th>データ (JPEG)</th></tr></thead><tbody><tr><td>工事前</td><td>カラー・サービス版</td><td>1</td><td>1 (CD-R)</td></tr><tr><td>工事中</td><td>同上</td><td>1</td><td>1 (CD-R)</td></tr><tr><td>完成時</td><td>同上</td><td>1</td><td>1 (CD-R)</td></tr></tbody></table>	区分	分類・規格	部数	データ (JPEG)	工事前	カラー・サービス版	1	1 (CD-R)	工事中	同上	1	1 (CD-R)	完成時	同上	1
区分	分類・規格	部数	データ (JPEG)														
工事前	カラー・サービス版	1	1 (CD-R)														
工事中	同上	1	1 (CD-R)														
完成時	同上	1	1 (CD-R)														
共通	完成図書	提出を要する青焼完成図。 ● 大きさ A3 版 , 提出部数 1 部															
	負担金	● 施工図 1 部 ● 取扱説明書 1 部 ● 主要機器完成図 1 部 ● 届出、許可書類 1 部 ● 配管等の試験成績書 1 部 ● 測定表 1 部 ● ● 保証書 1 部															
共	残土処分	● 構内敷ならし ・ 構内指定場所に堆積 ・ 構外搬出適切処理															
	埋設土	● 山砂の類 ● 根切り土中の良質土															
	地中埋設機	● 設置する ● 給水管 ・ 排水管 ・ ガス管 ・ 油管 ・ 消火管 ・ 設置しない															
工事	掘削	● 既存埋設等の盛り替え又は周辺部の掘削において、施設管理者と協議のうえ、危険が伴うと判断した時は、関係回路の電源を遮断、元栓を締め工事を行うこと。 請負にかかる主任技術者は必ず立会い指導を行うこと。なお、当該施工について資格を要する場合は、有資格者による施工又は立会い指導を行うこと、又、時間帯及び日程の協議を行い、施工の際は必ず施設管理者の立会いを受けること。 既設回路への調査、施工の日程計画、仮設計画、有資格者の選任、関係先への届出、検査、試験及び施工図書等施工計画書を提出すること。															
	総合調整	● 各設備の施工完了時に次の総合調整を行い、機器等の運 転状態を記録 し、測定結果及び測定者名を記入の上、監督員に提出する。 ・ 風量調整 ● 水量調整 ・ 室内外空気の湿温度の測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定															

配管材料

給水、給湯、排水（通気管、ドレンを含む）、消火、冷温水、冷却水、蒸気、油用配管他

名称		給水	給湯	排水	消火	ガス	冷温水	冷却水	油	循環	備考
鋼管	配管用炭素鋼鋼管（白）										
	配管用炭素鋼鋼管（黒）										
	硬質塩ビニルライニング 鋼管（内面）										
	硬質塩ビニルライニング耐熱（内面）										
	排水用塩ビニルライニング鋼管										
	消火用塩 化ビニル外面被覆鋼管										
管	ガス用塩化ビニル外面被覆鋼管										
	ポリエチレン粉体ライニング鋼管										
ステンレス管	大版ガス仕様										
	一般配管用ステンレス鋼鋼管										
継手	水通川ステンレス鋼鋼管										
	鋼製管フランジ通則（亜鉛メッキ）										
鋼管	突合せ溶接式管継手										
	ハウジング形管継手										
ビニル管	鋼 管（・L・M）										
	被覆鋼管（M）										
その他	冷媒用被覆鋼管										
	耐衝撃性硬質塩ビニル管										
その他	硬質塩化ビニル一般管										
	” 薄肉管										（屋外地中）
その他	耐熱性硬質塩ビ管										
	ポリエチレン管										
その他	ダクタイル鋳鉄管										
	鉛 管										

注） 1. 冷媒用管は高圧ガス保安協会の「冷凍装置の構造及び試験基準」によるものとする。
2. 塩ビライニング鋼管及びポリ粉体鋼管に使用する継手は管端防食継手とする。

バルブ類

名称		給水	給湯	排水	消火	ガス	冷温水	冷却水	油	循環	備考
仕切弁	青銅弁（5 K）										
	”（10 K）	○									
	鋳鉄弁（5 K）										
	”（10 K）										
玉形弁	ステンレス鋼弁（10 K）										
	青銅弁（5 K）										
	”（10 K）										
	鋳鉄弁（10 K）										
逆止弁	ステンレス鋼弁（10 K）										
	青銅弁（10 Kスウィング型）										
	鋳鉄弁（10 Kスウィング型）										
	ステンレス鋼弁（10 K）										
ボール弁	青銅弁（10 K）										
	鋳鉄弁（10 K）	○									
	青銅弁（10 K）										
	ステンレス鋼弁（10 K）										

注） 鋳鉄製弁はライニング弁とする

保温

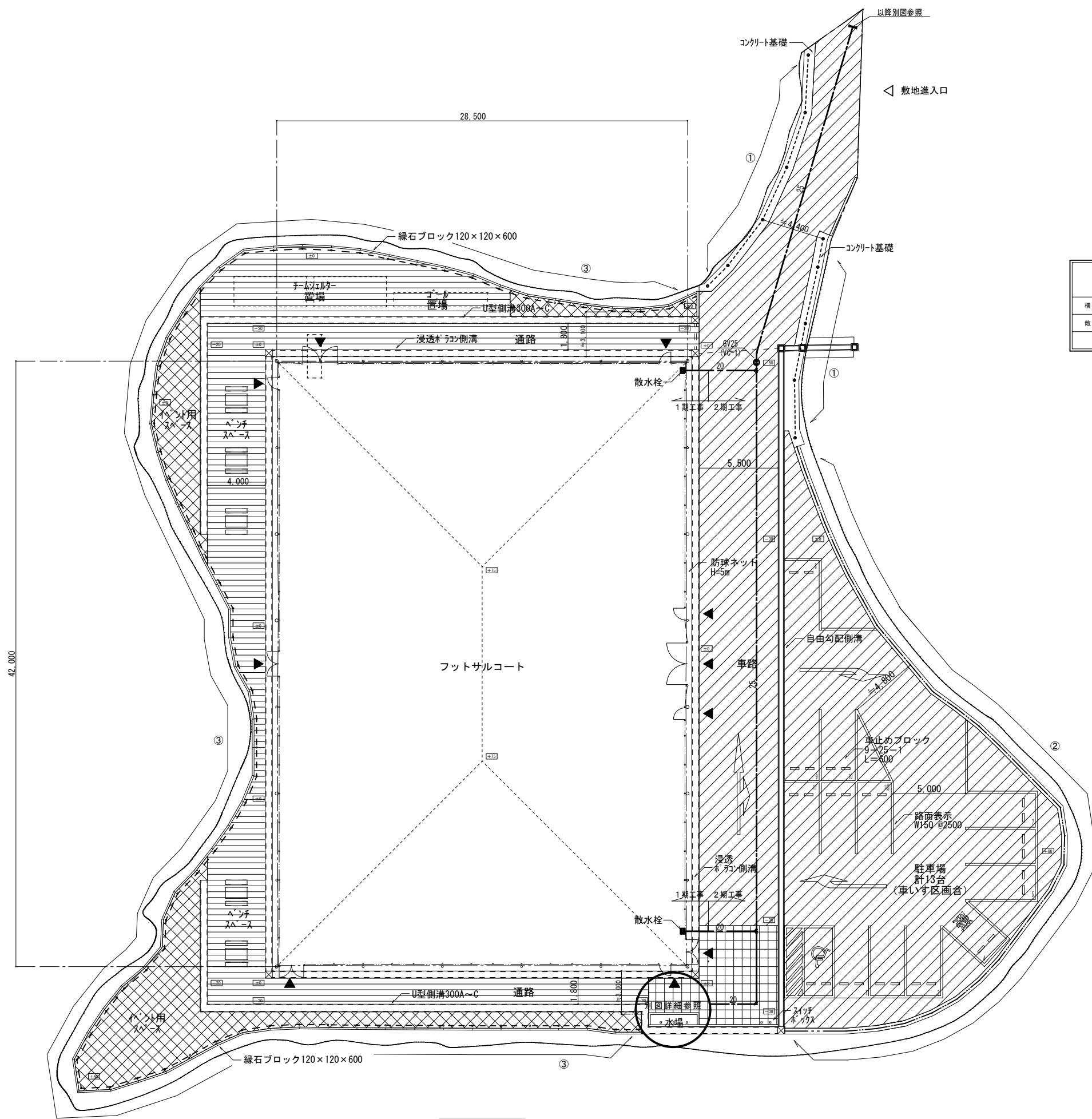
	屋内露出	天井 P S 内	床下、暗渠ピット内	屋外露出		備考
給水	R. G. P	R. G. P	G. P	G. P		
排水	R. G. P	R. G. P	R. G. P	R. G. P		
給湯	R. G	R. G	R. G	R. G		
消火	R. G. P	R. G. P	R. G. P	R. G. P		
冷媒	R. G. M	R. G. M	R. G. M	R. G. M		
一般ダクト	R. G	R. G	R. G	R. G		
チャンパー	R. G	R. G	R. G	R. G		
蒸気	R. G	R. G	R. G	R. G		
冷温水	R. G. P	R. G. P	R. G. P	R. G. P		
貯湯槽	R. G	R. G	R. G	R. G		
パナパナ（空調）	R. G. P	R. G. P	R. G. P	R. G. P		
”（給排水）	R. G. P	R. G. P	R. G. P	R. G. P		
ヘッドー類	R. G. P	R. G. P	R. G. P	R. G. P		
ドレン	R. G. P	R. G. P	R. G. P	R. G. P		

注） 1. 保温材（R：ロックウール G：グラスウール P：ポリスチレンフォーム）
厚みは 液管10mm、ガス管20mmとする。
2. 冷媒整形保温材はグラスウールとする。
3. 保温外装材（屋外露出）は ・ ステンレス鋼板 ・ 亜鉛鉄板 とする。
又、冷媒用外装材は ・ ステンレス鋼板 ・ 樹脂製カバー とする。

給水給湯設備	量水器	・ 貸与 品 ・ 買取り
排水通気設備	防火区画貫通管	・ 耐熱被覆二層管 ・ 鋼管（白）
消火設備	連結送水管箱 消火器	・ 表示灯付 ・ 分離型 ・ 本工事 ・ 図示部分に設置 ・ 別途
ガス設備	ガスメーター	・ 貸与 品 ・ 本工事 ・ 別途
浄化槽設備	処理対象人員 処理水量 放流量 処理種別 構造 コンクリート躯体 工事	18人 3.60 m ³ /日 ・ BOD 20 以下、 COD 30 以下、 SS 15 以下 ・ 単独処理 ・ 合併処理 ・ 分離接触ばっき式 ・ 分離ばっき式 ● 接触ろ床方式 ・ 本工事 ・ 別途
空気調和設備	温度計 圧力計 防煙ダンパー ピストンダンパー 空調及び換気用ダクト チャンパーの消音内張り	下記の管及び風道に取り付ける。 ・ 冷凍器、ボイラー、空気調和機、熱交換機類の出入口 ・ 冷温水ヘッダの送り、返り（系統ごと） ・ 空気調和機のサプライ、リターン、外気ダクト及びチャンパー 下記の風道に取り付ける。 ・ 冷凍機の冷却水、冷水の出入口 ・ 熱交換機、空気調和機の出入口 ・ 遠隔復帰式（電気式） ・ 手動式 ・ 遠隔復帰式（電気式） ・ 手動式 ・ アンクル工法 ・ コーナーボルト工法（・ 共板工法 ・ スライド工法） ・ 要 ・ 不要

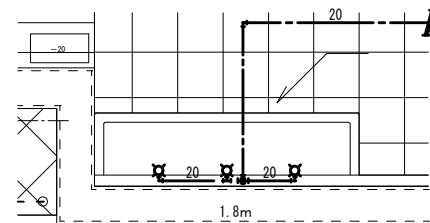
IV 使用材料等標準メーカー表（下記同等品以上とする）（JIS等：JIS、HASS、JWWA）

機器材料名	製造業者名			
管類	JIS等表示品			
給排水用鋳鉄管				
排水金具、鋳鉄製品				
弁類	JIS等表示品			
ポンプ類				
ガス給湯機				
電気温水器				
衛生陶器、金具類	TOTO	LIXIL		
消火栓箱及び付属品				
減圧弁、安全弁類				
換気扇				
空調機				
浄化槽				



名 称	参 考 型 番	付 属 品	合 計
横 水 栓	T 2 0 0 S N R 1 3 C		3
散 水 栓	T 2 8 U N H 1 3	ボックス共	2

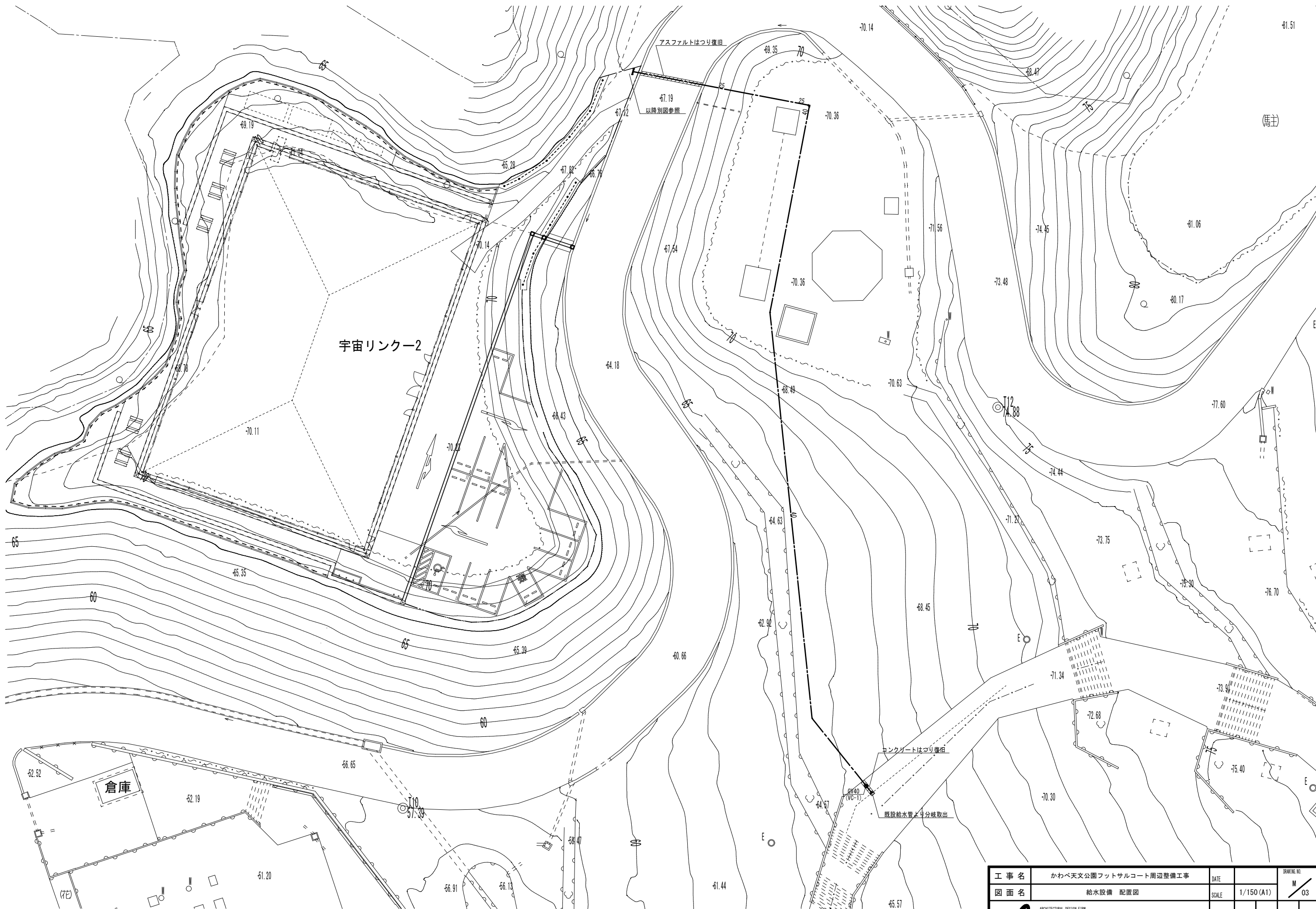
新 設 器 具 リ ス ト



水 場 詳 細 図 1/50

配 置 図 1/150

工 事 名	かわべ天文公園フットサルコート周辺整備工事	DATE		DRAWING NO.	
図 面 名	給水設備 平面図	SCALE	1/150 (A1)	M	02
ARCHITECTURAL DESIGN FIRM 株式会社 岡 本 設 計					



工 事 名	かわべ天文公園フットサルコート周辺整備工事	DATE		DRAWING NO.	
図 面 名	給水設備 配置図	SCALE	1/150 (A1)	M	03
ARCHITECTURAL DESIGN FIRM 株式会社 岡 本 設 計					

フットサルコート造成計画平面図

A1:S=1/250 A3:S=1/500

点名	座標	Y座標	標高
T7	-233338.991	-72693.443	50.990
T8	-233304.978	-72725.910	51.270
T10	-233313.128	-72624.212	57.390
T11	-233211.255	-72577.993	69.370

ガードレール Gr-C-4E L=18.00m
(土中用・景観色)
支柱岩盤附孔設置 6か所

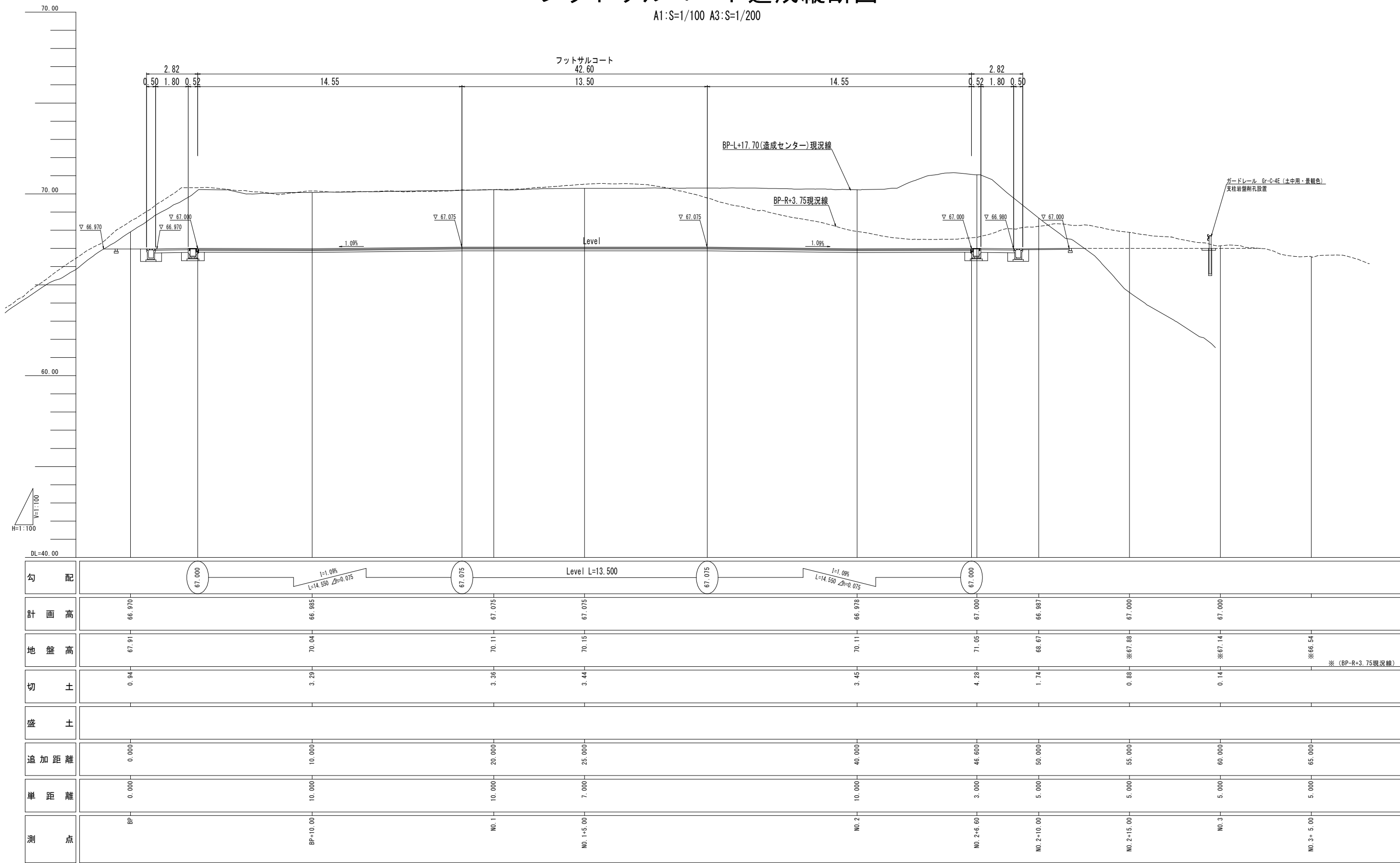
ガードレール Gr-C-4E L=18.00m
(土中用・景観色)
支柱岩盤附孔設置 6か所

転落・車両防護欄
景観型(転落防止機能付)
L=60m
プレキャスト連続基礎
L=61m
400×450 B型
基本 n=29
A型 n=1
B型 n=1

工 事 名	かわべ天衣公園フットサルコート周辺整備工事	DATE		DRAWING. NO.
図 面 名	フットサルコート造成計画平面図	SCALE	1/250 (A1)	G/01
ARCHITECTURAL DESIGN FIRM 株式会社 岡 本 設 計				

フットサルコート造成縦断図

A1:S=1/100 A3:S=1/200



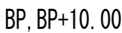
工 事 名	かわべ天文公園フットサルコート周辺整備工事	DATE		DRAWING. NO.
図 面 名	フットサルコート造成計画平面図	SCALE	1/100(A1)	G/02
ARCHITECTURAL DESIGN FIRM 株式会社 岡 本 設 計				


A1:S=1/100 A3:S=1/200

GH= 70.13
FH= 66.99



GH= 68.44
FH= 66.97
L = 0.00



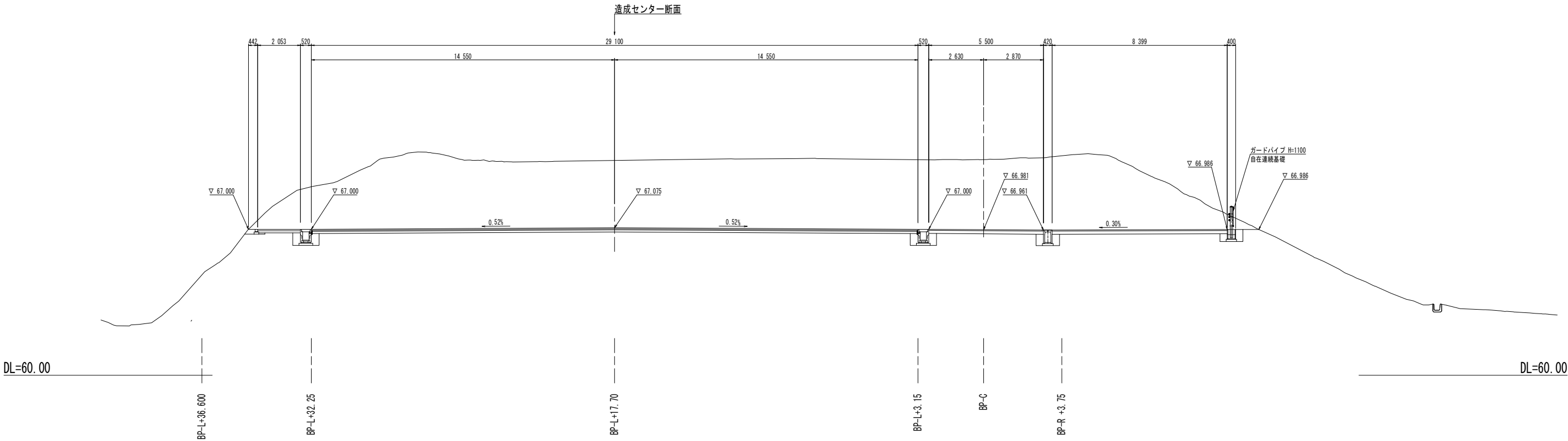
工 事 名	かわべ天文公園フットサルコート周辺整備工事	DATE		DRAWING. NO.
図 面 名	フットサルコート造成横断面-01	SCALE	1/100 (A1)	G 03
				

フットサルコート造成横断面図 -02

A1:S=1/100 A3:S=1/200

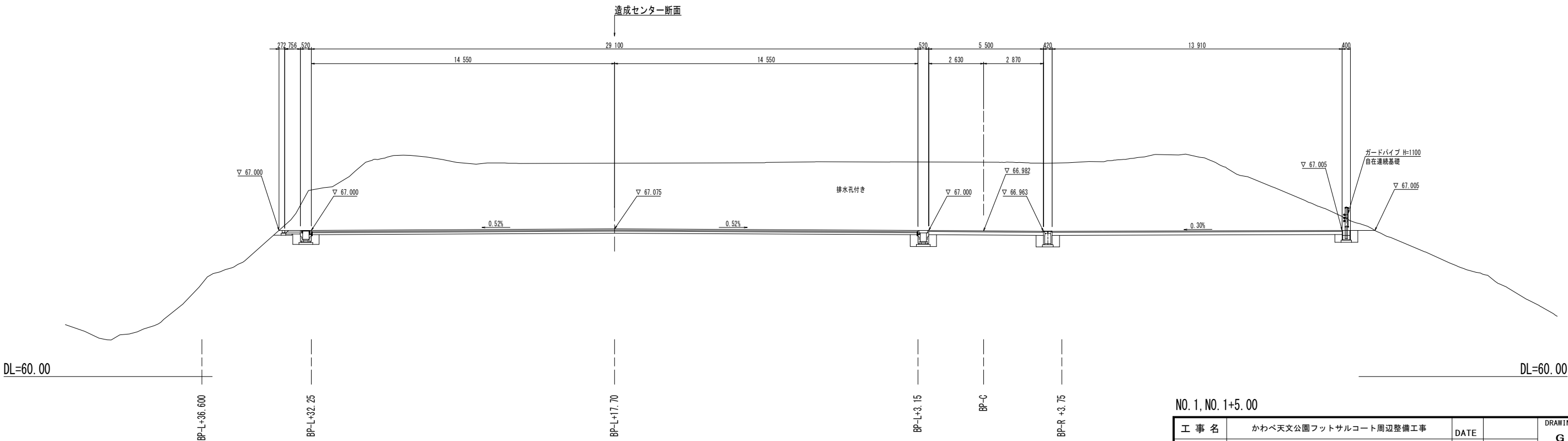
NO. 1+5.00

GH= 70.34
FH= 66.98
L = 18.00



NO. 1

GH= 70.27
FH= 66.98
L = 10.00



NO. 1, NO. 1+5.00

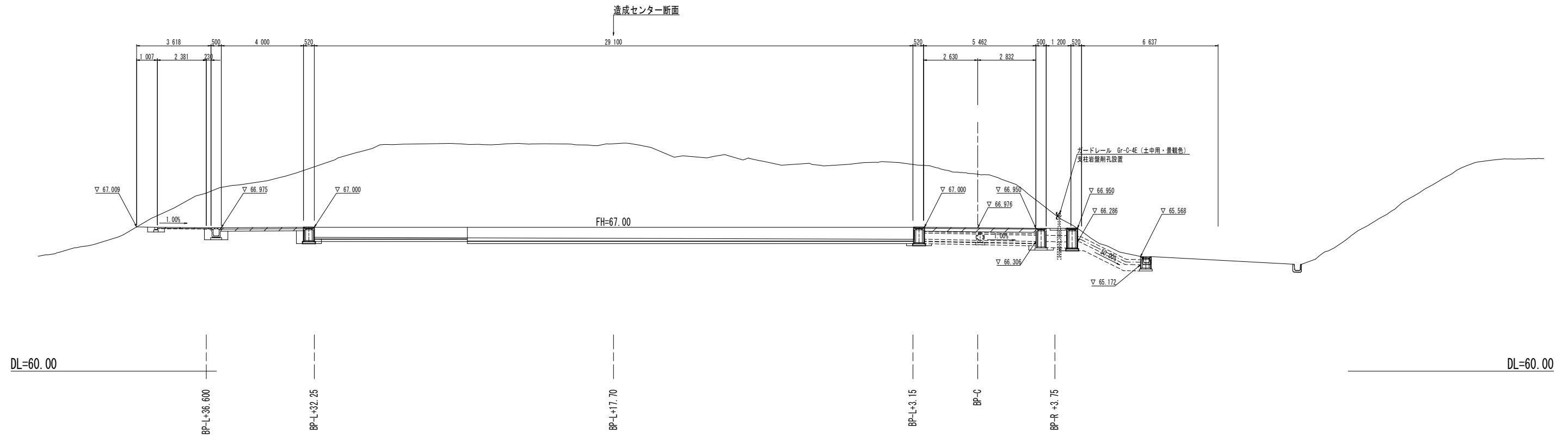
工 事 名	かわべ天文公園フットサルコート周辺整備工事	DATE		DRAWING. NO.
図 面 名	フットサルコート造成横断面図-02	SCALE	1/100 (A1)	G/04
ARCHITECTURAL DESIGN FIRM 株式会社 岡 本 設 計				

フットサルコート造成横断図 -03

A1:S=1/100 A3:S=1/200

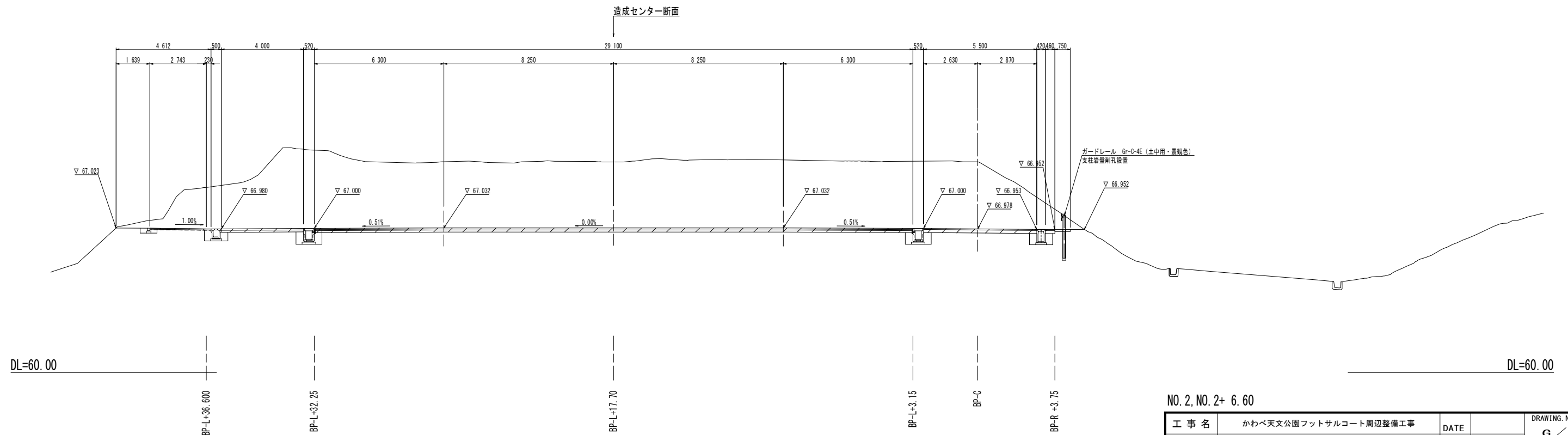
NO. 2+ 6.60

GH= 69.57
FH= 66.98
L = 6.60



NO. 2

GH= 70.23
FH= 66.98
L = 15.00



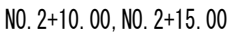
NO. 2, NO. 2+ 6.60


工 事 名	かわべ天文公園フットサルコート周辺整備工事	DATE		DRAWING. NO.
図 面 名	フットサルコート造成横断図-03	SCALE	1/100 (A1)	G/05
ARCHITECTURAL DESIGN FIRM 株式会社 岡 本 設 計				

A1:S=1/100 A3:S=1/200

GH= 66.31
FH= -----
L = 5.00

土工 (掘削 軟岩)
L= 1.50



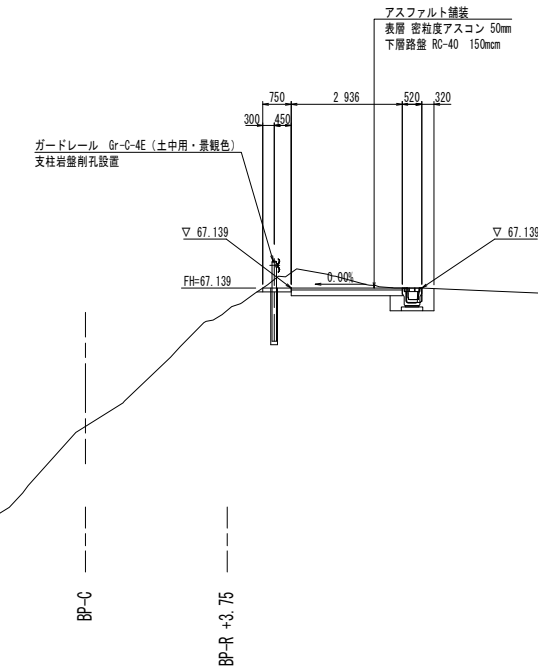
工 事 名	かわべ天文公園フットサルコート周辺整備工事	DATE		DRAWING. NO.
図 面 名	フットサルコート造成横断面図-04	SCALE	1/100 (A1)	G 06
 ARCHITECTURAL DESIGN FIRM 株式会社 岡 本 設 計				

フットサルコート造成横断図 -05

A1:S=1/100 A3:S=1/200

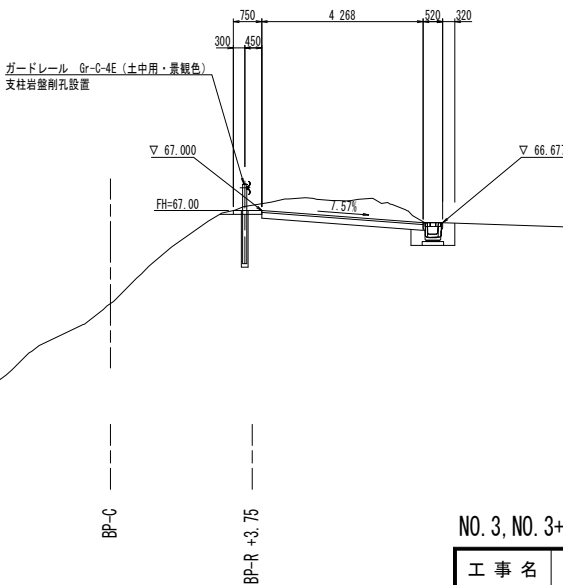
NO. 3+ 5.00

GH= 63.48
FH= 67.00
L = 5.00



NO. 3

GH= 64.54
FH= 67.00
L = 5.00



NO. 3, NO. 3+ 5.00

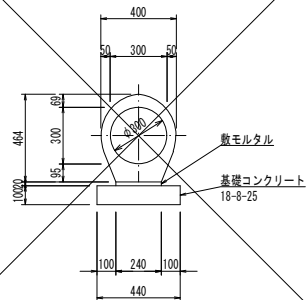
工 事 名	かわべ天文公園フットサルコート周辺整備工事	DATE		DRAWING. NO.
図 面 名	フットサルコート造成横断図-05	SCALE	1/100 (A1)	G/07
ARCHITECTURAL DESIGN FIRM 株式会社 岡 本 設 計				

構造物詳細図 - 03

暗渠管工(台付管)

A1:S=1/20 A3:S=1/40

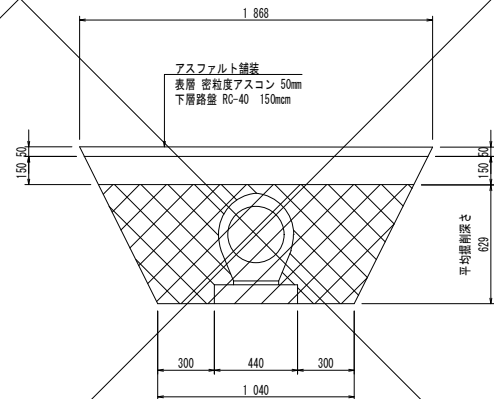
台付管D300



材料表

名 称	規 格	単位	数 量	適 要
台付管φ300	φ300 L=2000	本	5.000	390kg/本
敷モルタル	1:3	m3	0.048	
基礎コンクリート	18-8-25	m3	0.440	
基礎コン型枠		m2	2.000	

台付管D300土工図



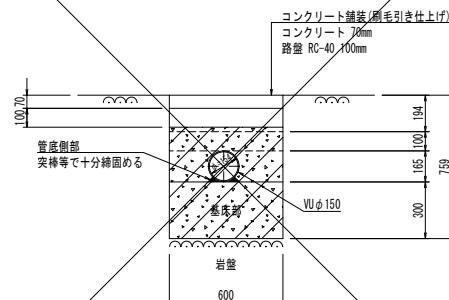
作業土工

名 称	单 位	数 量	适 要
床置 軟岩	m3	0.85	
基面整正	m2	0.44	
埋戻し 土砂	m3	0.65	

暗渠排水管工(VU管)

A1:S=1/20 A3:S=1/40

VU ϕ 150



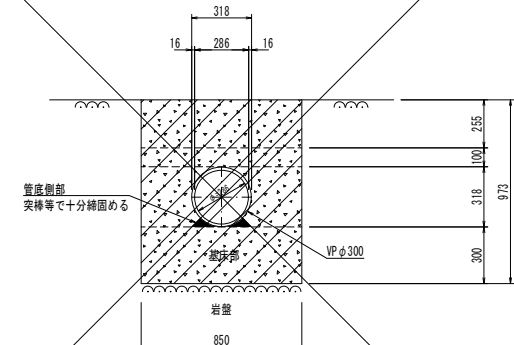
材料表

名 称	規 格	単 位	数 量	適 要
VU管	VUφ150	本	2.500	L=4.00m
基礎材	埋め戻し用砂	m ³	3.320	

暗渠排水管工 (VP管)

A1:S=1/20 A3:S=1/40

VP ϕ 300



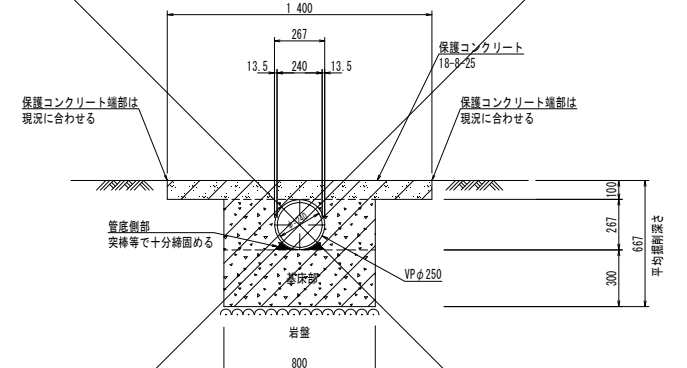
材料表

名 称	規 格	単位	数 量	適 要
VP管	VPφ300	本	2.500	L=4.00m
基礎材	埋め戻し用砂	m ³	7.480	

縱排水管工 (VP管)

A1:S=1/20 A3:S=1/40

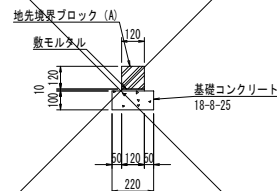
VP ϕ 250

~~材料表~~

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
VP管	VP φ250	本	2.500	L=4.00m
基礎材	埋め戻し用砂	m ³	3.980	
保護コンクリート	18-8-25	m ³	1.400	

地先境界ブロック

A1:S=1/20 A3:S=1/40

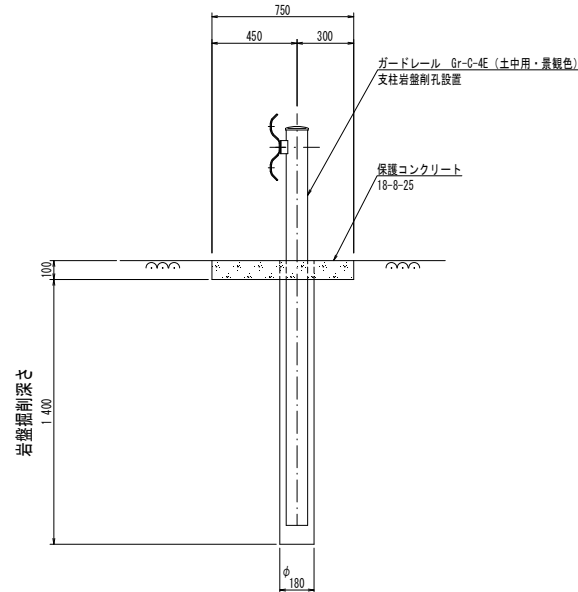


材料表

名 称	規 格	単位	数 量	適 要
歩車連境界ブロック	(A種) L=600	個	16.666	21kg/個
敷モルタル	1:3	m ³	0.015	
基礎コンクリート	18-8-25	m ³	0.250	
基礎コンクリート	一般型枠	m ²	2.000	

ガードレール
支柱岩盤削孔

A1:S=1/20 A3:S=1/40

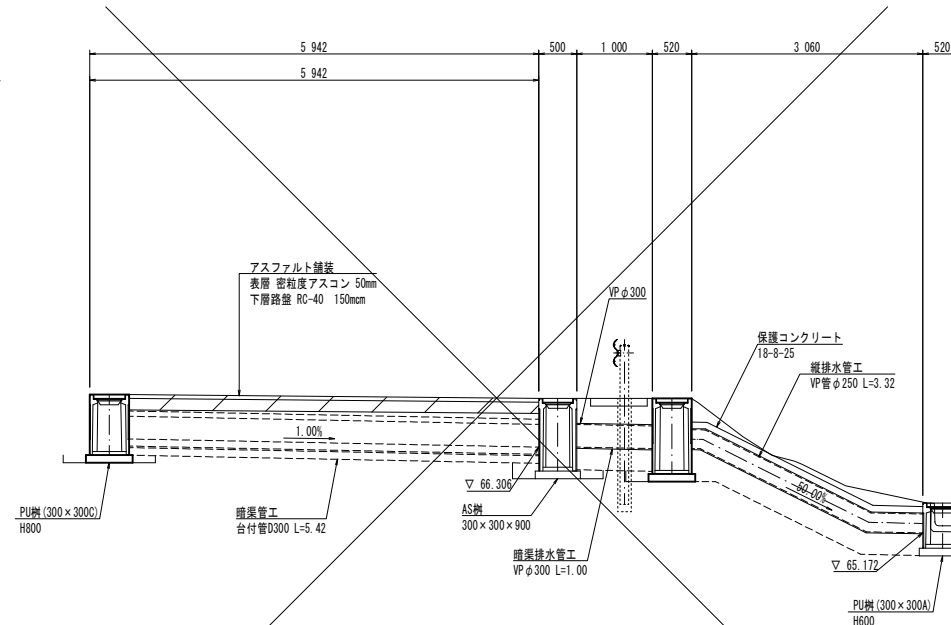


材料表

名 称	規 格	単位	数 量	適 要
ガードレール	Gr-C-4E 中用	m	10.000	景観色
支柱岩盤削孔設置	φ180 L=1.40m	箇所	2.500	
保護コンクリート	18-8-25	m ³	0.750	

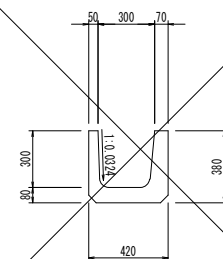
暗渠排水管・縦排水管工

A1:S=1/50 A3:S=1/100




既設U字側溝取壊し

A1:S=1/20 A3:S=1/40

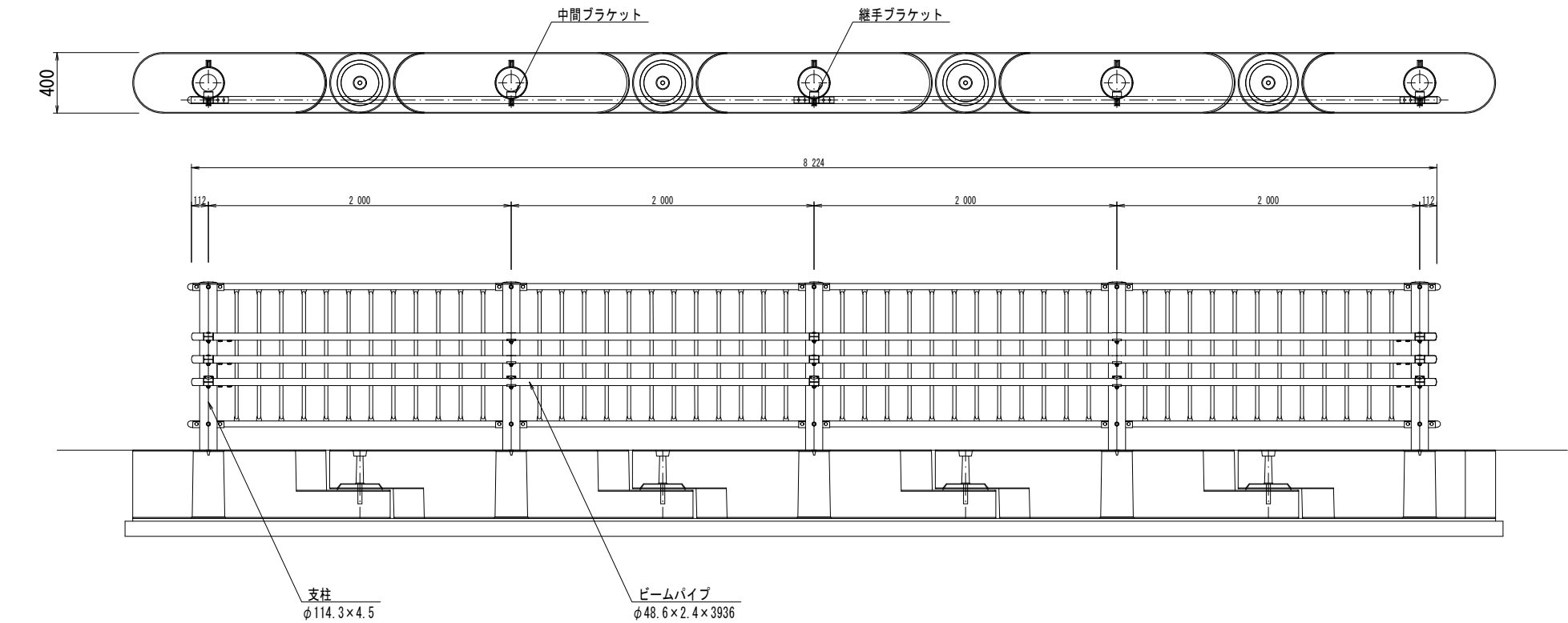


取壊し数量工

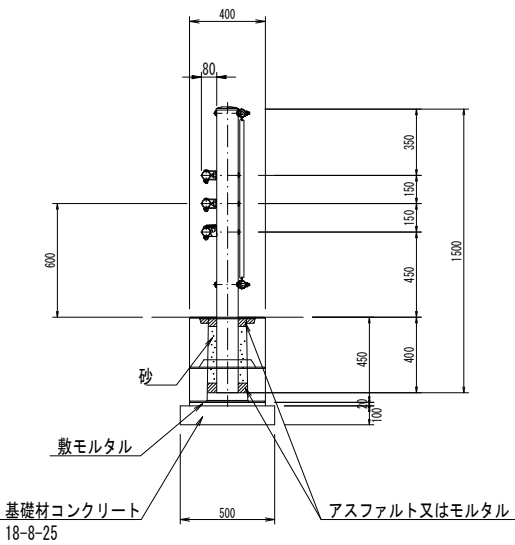
名 称	単位	数 量	適 要
構造物取壊し	m3	0.075	

工 事 名	かわべ天文公園フットサルコート周辺整備工事	DATE		DRAWING. NO. G / 08
図 面 名	構造詳細図-03	SCALE	1/20 (A1)	
 ARCHITECTURAL DESIGN FIRM 株式会社 岡 本 設 計				

ガードパイプ基礎構造図

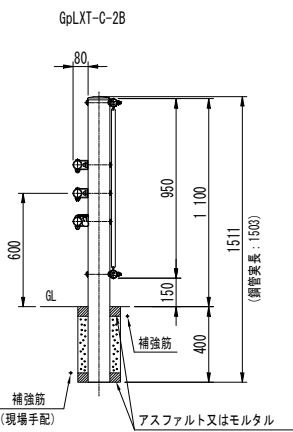
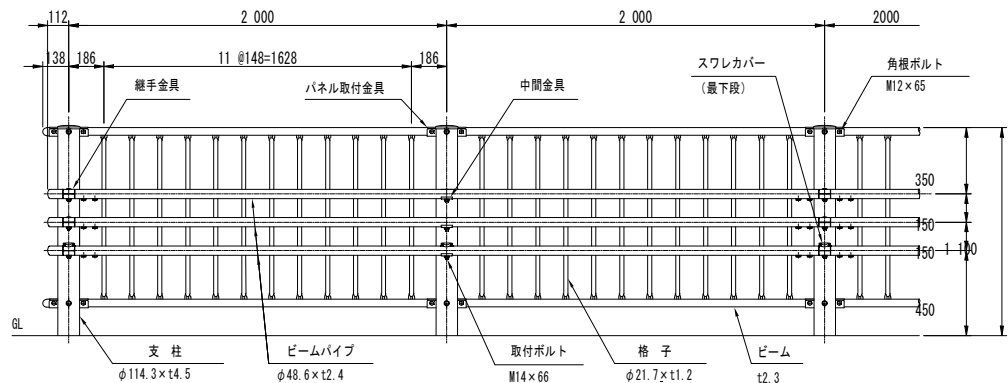


B 型



ガードパイプ

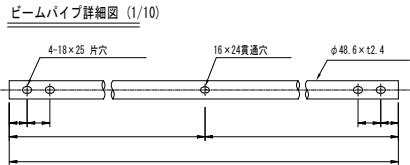
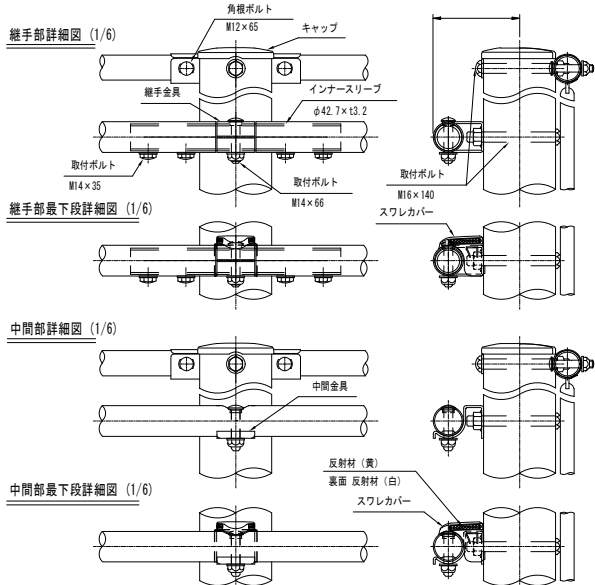
参考品番：積水樹脂 GpLXT-C-2B



材料表 防護柵基礎

名称	規格	単位	数量	通要
ガードパイプ	GpLXT-C-2B	m	60.224	
プレキャスト連続基礎	400×450 B型 基本	個	29	
プレキャスト連続基礎	400×450 B型 端部A	個	1	
プレキャスト連続基礎	400×450 B型 端部B	個	1	
敷モルタル	1:3	m ³	0.488	
基礎コンクリート	18-8-25	m ³	3.050	
同上型枠	B300用	m ²	12.200	

※安全率1.5の場合、連続延長20m必要である。



品名	材質	摘要
支柱	STK400相当	高耐食溶融めっき+静電粉体塗装
格子	STK400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
ビーム	SGH490	亜鉛めっき+静電粉体塗装
パネル取付金具	SGH400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
ビームパイプ	STK400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
インナースリーブ	STK400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
継手金具	SGH400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
中間金具	SGH400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
取付ボルト	4.6相当	溶融亜鉛めっき M16×140
取付ボルト	6.8相当	溶融亜鉛めっき M14×66
取付ボルト	10.9相当	溶融亜鉛めっき M14×35
角根ボルト	4.6相当	溶融亜鉛めっき M12×65
キャップ	PC	ポリカーボネート樹脂
スワレカバー(反射材付)	PC	ポリカーボネート樹脂 ガラスビーズ 白・黄

※スワレカバーは最下段の継手・中間金具に取り付け。
【注記】部品は場合により多少変更することがあります。

工事名	かわべ天文公園フットサルコート周辺整備工事	DATE		DRAWING. NO.
図面名	構造詳細図-04	SCALE	1/20 (A1)	G/09
ARCHITECTURAL DESIGN FIRM 株式会社 岡本設計				